

マリオゴルフ64

FOR ALL PLAYERS HOPING TO TOUCH THE TRUE ENTERTAINMENT

コース ガイドブック②

③ヘイホーデザート　④ヨッシーアイランド



ファミ通64+ 9月号 特別付録

キャラクター別 飛距離一覧

数字はそれぞれキャリー(左)とラン(右)を意味し、この合計がゲーム画面で左下に表示されている飛距離になると考えてほしい。フルスイングからひと目盛り減らした場合のショット(-1)を使いこなせれば、対応に困る場面はかなり減るだろう。微妙なパワー調整が難しいなら、ボールのいちばん下を叩くバックスピンでわざとボールを高く上げるといい。キャリーとランを考えてシチュエーションに合ったクラブを選び、「グリーンへ乗せる」のではなく「ピンへ寄せる」という、ワンランク上のアプローチを期待したい。



「フルスイング-1」のショットは、狙った目盛りの直前でAボタンを押す感じだ。

ピーチ

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	220/12	202/14	187/13	174/12	161/12	153/12	145/11	131/12	120/12	109/11	99/13	83/13	62/10
FS	198/12	185/13	170/12	154/11	145/13	136/14	128/10	117/11	107/11	98/12	88/12	74/12	55/12
-1	184/15	173/13	159/15	144/12	136/13	128/13	120/13	110/10	100/14	91/13	82/11	70/12	51/12
BS	195/11	181/10	166/12	152/10	143/11	134/13	123/11	113/9	104/12	95/11	86/11	76/10	58/11

ベビィマリオ

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	223/12	209/12	190/10	177/11	165/11	153/9	143/9	134/10	122/9	109/13	100/12	85/8	62/9
FS	201/13	186/12	170/11	157/10	148/13	138/9	129/9	121/10	107/10	99/10	90/12	77/10	54/12
-1	190/12	178/10	160/11	148/10	140/10	129/10	122/11	114/11	101/11	93/11	84/11	71/9	52/10
BS	202/9	186/11	170/9	156/9	148/13	137/10	128/9	119/9	106/10	99/11	91/10	78/12	59/9

ルイージ

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	226/15	210/14	193/14	176/11	167/13	158/10	145/10	136/12	125/10	115/9	104/10	89/10	66/9
FS	198/17	188/16	176/15	157/15	150/12	140/11	131/13	122/10	114/11	103/10	93/10	79/10	60/9
-1	184/18	178/15	165/14	148/14	142/12	130/13	124/11	114/13	107/11	96/12	86/11	74/11	55/11
BS	194/14	182/11	167/11	155/12	147/13	135/12	128/11	119/9	111/11	102/9	92/9	80/8	62/9

ヨッシー

	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	240/14	220/11	204/12	189/10	175/13	162/12	154/12	143/10	132/12	118/11	109/10	92/9	69/9
FS	215/12	198/14	182/13	168/14	157/11	146/12	139/10	127/12	121/8	107/12	98/12	83/9	62/10
-1	204/12	187/13	173/12	159/13	149/12	140/9	133/11	120/11	113/12	102/10	93/10	78/9	58/9
BS	217/12	199/11	179/10	167/12	157/8	146/10	136/10	125/12	118/9	108/10	100/8	85/8	67/9

表内の数字はキャリー/ラン(単位はヤード)を示す　**PS**:パワーショットでのフルスイング　**FS**:ノーマルでのフルスイング　**-1**:FSから目盛りひとつ分減らしたショット　**BS**:バックスピンをかけたフルスイング　※数値はすべて編集部で独自に調べたものです。ドライビングレンジのティーショットにおいて無風・晴天状態で行い、インパクトはBSを除きボールセンターのみを対象とする、という条件の下で一定数のサンプルを集め、そこから数値を算出しました。なお、小数点以下は四捨五入となっています。

ホール攻略アドバイスについて

ホール別攻略の各所で出てくるアドバイスは、それぞれキャラクターの特徴に対応したものになっている。ちなみに、基本とは別の攻略ルートと合わせて載せている場合もある。なお、ホール図の横にあるグラフは、ホール全体の高低の状態を表したものである。

今回の**初心者用**アドバイスは、ヨッシーで攻略しているぞ。

ドローボールを活かした攻略パターンや注意点を解説する。

普通の攻略パターンとは少し異なる、**リングショット**専用。

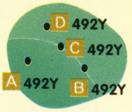




ホールアウトにおける**時間短縮**のためのアドバイス。

ロングヒッター用。パー5でのイーグルトライなどで登場。

ドローと正反対の**フェードボール**を打つ場合はここに注目。



カップが切られる(ピンが立っている)位置は4ヵ所あり、その中からランダムにひとつが選ばれることになる。本書では、ティーグランドから近い順にA～Dと表記、それぞれのティーグランドからの残り距離を併記している。

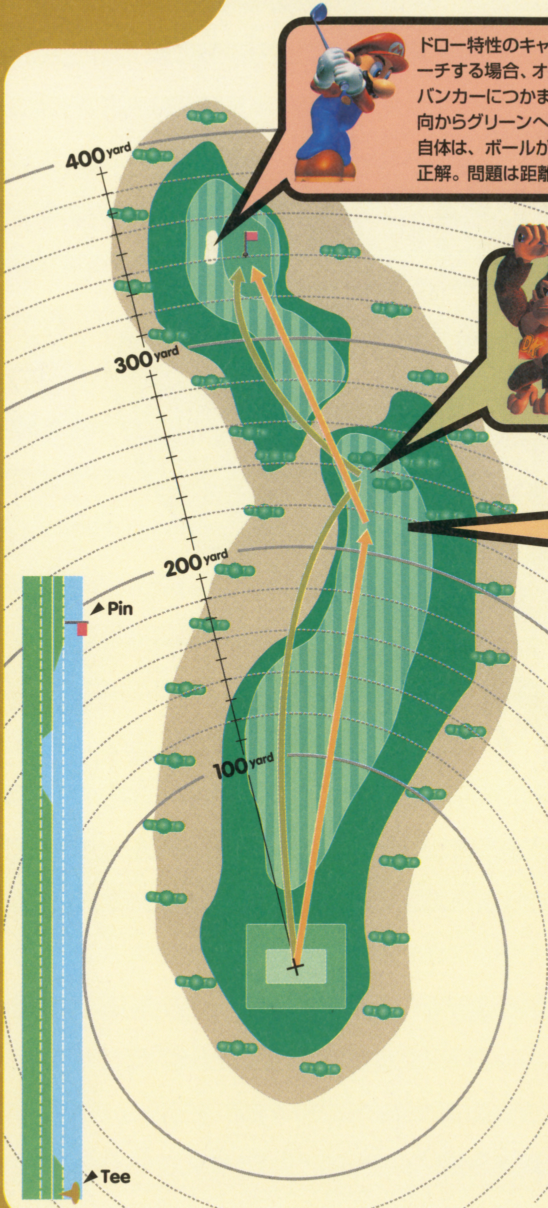
ヘイホーデザート



HOLE 1

360Yards | Par4

ラフの周囲に広がるのはウエストエリアと呼ばれるこのコース独特のハザード。飛距離がかなり落ちるのでリカバーも困難だ。方向的に、落とす心配はなさそうに思えるが、フェアウェイの両端が下り坂になっているのを要チェック。ティーショットでは、左へのフックはとくに禁物といえる。



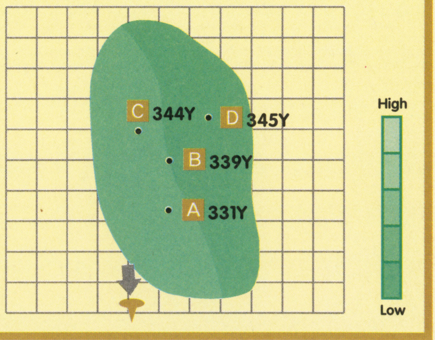
ドロー特性のキャラクターでアプローチする場合、オーバーするとこのバンカーにつかまる。もっとも右方向からグリーンへアクセスすること自体は、ボールが止まりやすいので正解。問題は距離感といえる。

ここは左への傾斜だが、キャリーでここまで直接運べれば、ランで転がり落ちることは少ない。フェードの場合、ランは右方向へと転がっていくためだ。

グリーン手前の守りはかなり手薄という雰囲気。縦長のグリーンを有効に使って、ストレートボールで攻めれば問題なし。

Green Data

左から右へ下っているアンジュレーション。カップがどこに切られていても、中央を狙うのがベター。手前や奥へ運ぶと、スタートホールから左右の傾斜に悩まされることに。



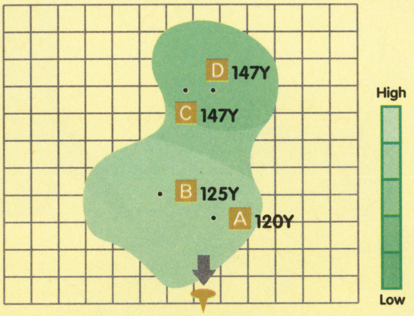
HOLE 2

153Yards　Par3

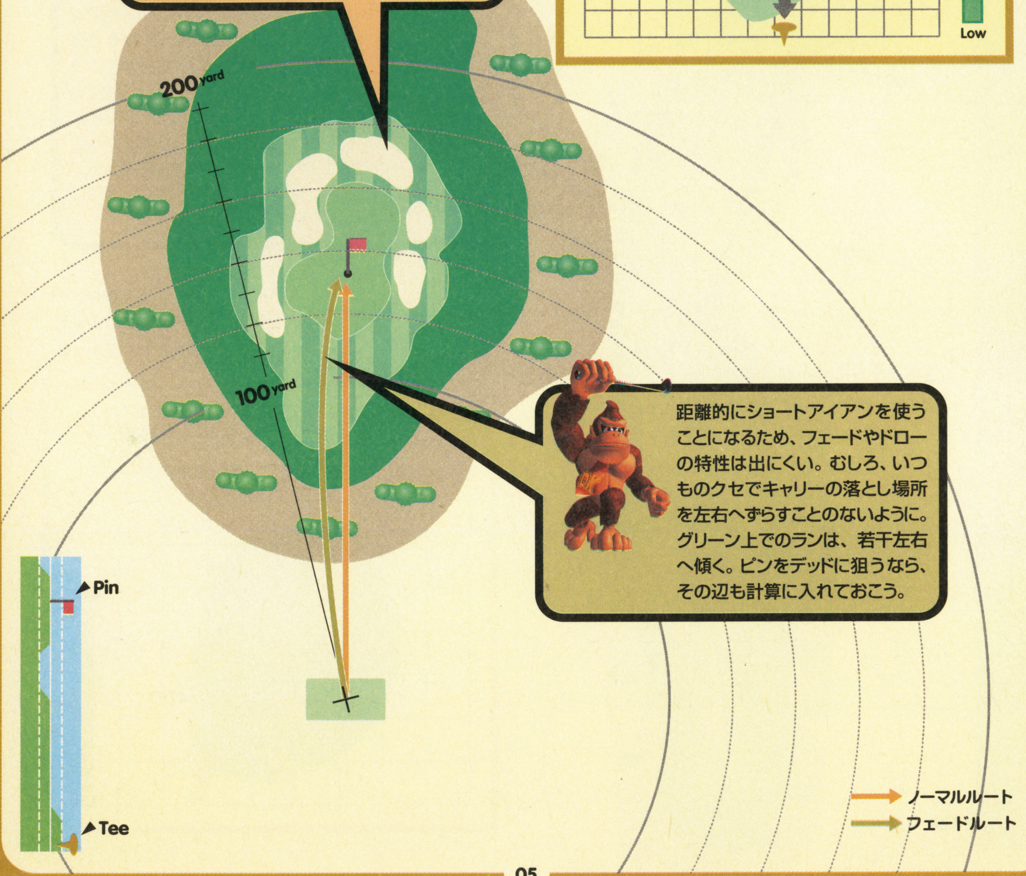
落差20ヤード前後という驚異のショートホール。いつもならここで飛距離を少しマイナスしたクラブを選択……といくところだが、距離設定に注目。ショートアイアンによる高い弾道でのティーショットとなるため、打ち下ろしでプラスされる飛距離はごくわずかなのだ。ほとんど普通に攻略すればOK。

Green Data

奥と手前で分かれたやっかいな2段グリーン。それぞれカップは2箇所ずつ切られる場所が設定されており、距離にして20ヤード以上も異なる。奥を狙うときは思いきって強めに。



打ち下ろしによる飛距離のプラスはわずかだが、滞空時間が長いため、風の影響は通常より強く受けるものと考えてほしい。グリーン手前以外を取り囲む無数のバンカーが、プレイヤーのコントロールミスを待っている。



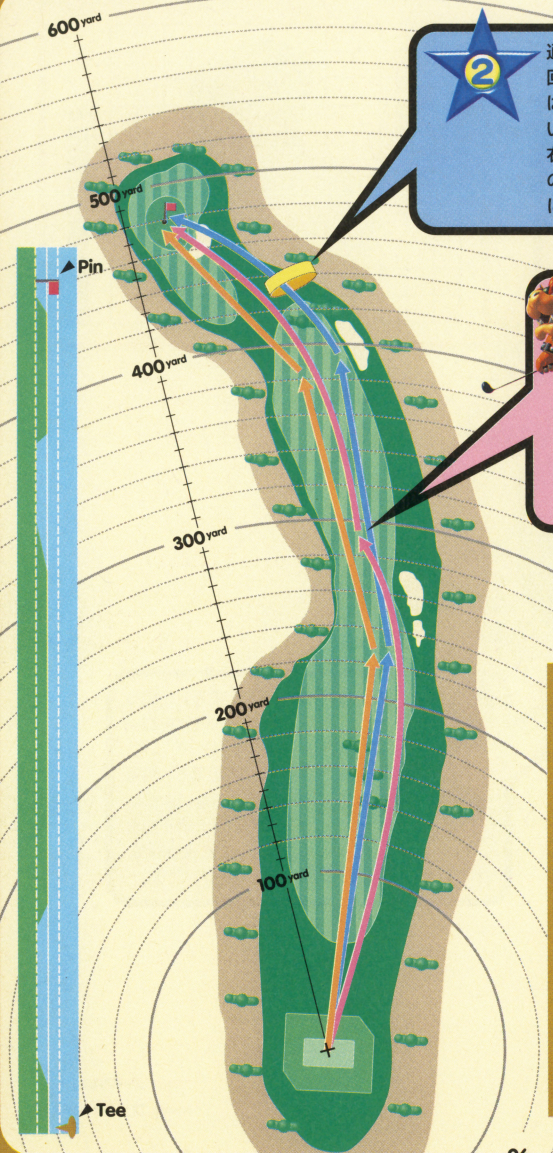
距離的にショートアイアンを使うことになるため、フェードやドローの特性は出にくい。むしろ、いつものクセでキャリーの落とし場所を左右へずらすことのないように。グリーン上でのランは、若干左右へ傾く。ピンをデッドに狙うなら、その辺も計算に入れておこう。

ヘイホーデザート

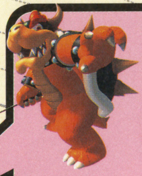
HOLE 3

520Yards　Par5

フェアウェイのイン側、つまり左側はウエストエリアへ向かって下っており、距離を稼ぐためにイン側を進むのは無謀といえる。ティーショット時に気になる正面のサボテンだが、これは心理的なハザードととらえていい。キャリーで軽々と上を越えられる。安心してサボテンの後方を狙っていこう。



② 通常の攻略ルートよりも、フェアウェイをやや大回りに右側を進むことになる。セカンドショットは大胆にフェアウェイ右のラフ手前まで運びたい。そして、アプローチでは意識的にボールの右端を叩くスライスでトライ。アドレスはリングの左端に合わせて、なるべくグリーンと直線的になるように心がけよう。

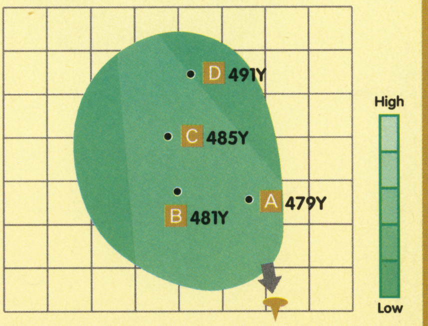


マリオ級の飛距離が出せるなら、連続でフルショットを決めれば、2オンはそれほど困難なことではない。ドロー系のクッパやマリオなら、ティーショットでフェアウェイの傾斜に困ることもないが、2打目となるアプローチがバンカー越えになる。反対に、フェード特性のドンキーは、アプローチよりもティーショットの落とし場所に細心の注意を払おう。

ノーマルルート
ロングルート
リングルート

Green Data

小振りな部類に入るグリーン。左右はエッジへ向かって下りになっており、やはりグリーン中央へ止まるボールでアプローチしたい。カップ付近はどれも比較的フラットだ。

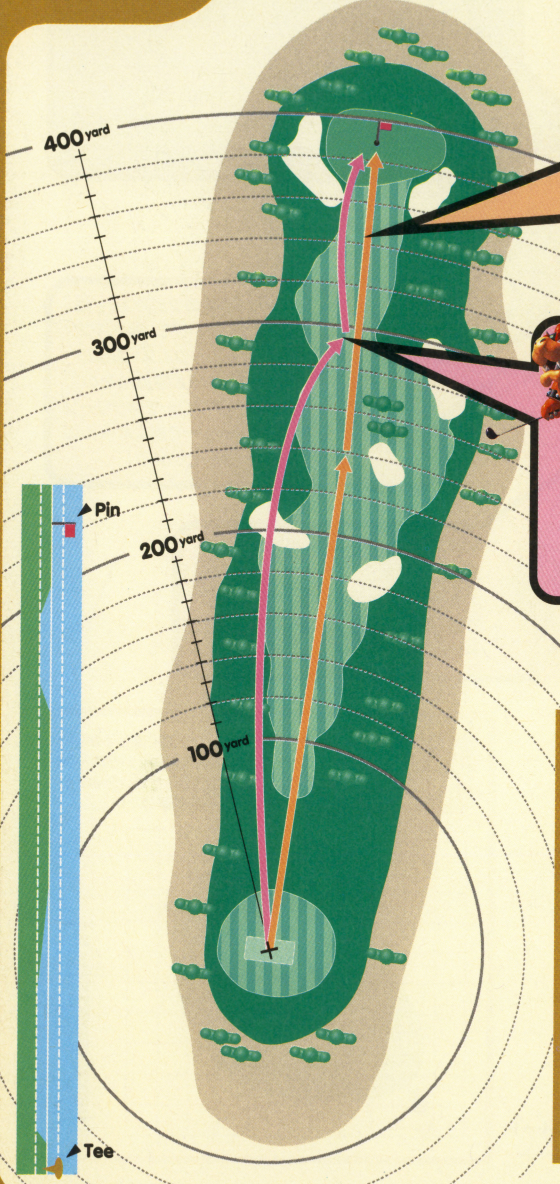


ヘイホーデザート

HOLE 4

390Yards | Par4

上から見ると平凡に感じるミドルホールを演出するのは、フェアウェイ中盤にある谷のようなダウンヒル。各々のティーショットにおける飛距離によって、アプローチにおける状況は大きく変わってくる。アプローチの残り距離は短いほうが有利だが、あえて谷の手前に短く刻むというのも手。





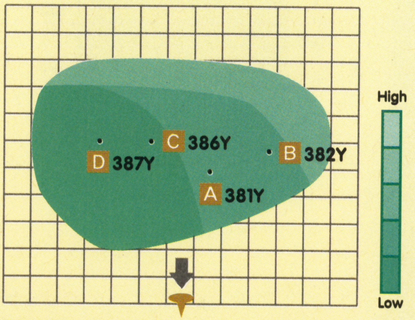
手前のフェアウェイからグリーンまでも若干上り坂となっている。そのため、ロングアイアンでのアプローチではあるが、キャリーで直接グリーンをとらえるボールが要求される。左右手前に門番のごとく配置されたバンカーは、どちらもアゴがかなり深い。リカバリーショットでは、少し強めにボールの下を叩くこと。



10ヤードの打ち上げとなる谷底へ、わざわざティーショットを運んだ理由は、アプローチの残り距離だ。クラブフェイスの開いたショートアイアンなら、キャリーが稼げてランも短くなり、横長のグリーンでもピンをデッドに狙いやすい。残り距離に15ヤードほど足す計算でクラブを選択するべし。

Green Data

おおまかに見ると左から右へと上ったアンジュレーション。細かい起伏が多く、カップまでの距離を残すとラインを読むのはかなり困難。距離感はもちろん方向性も問われる。



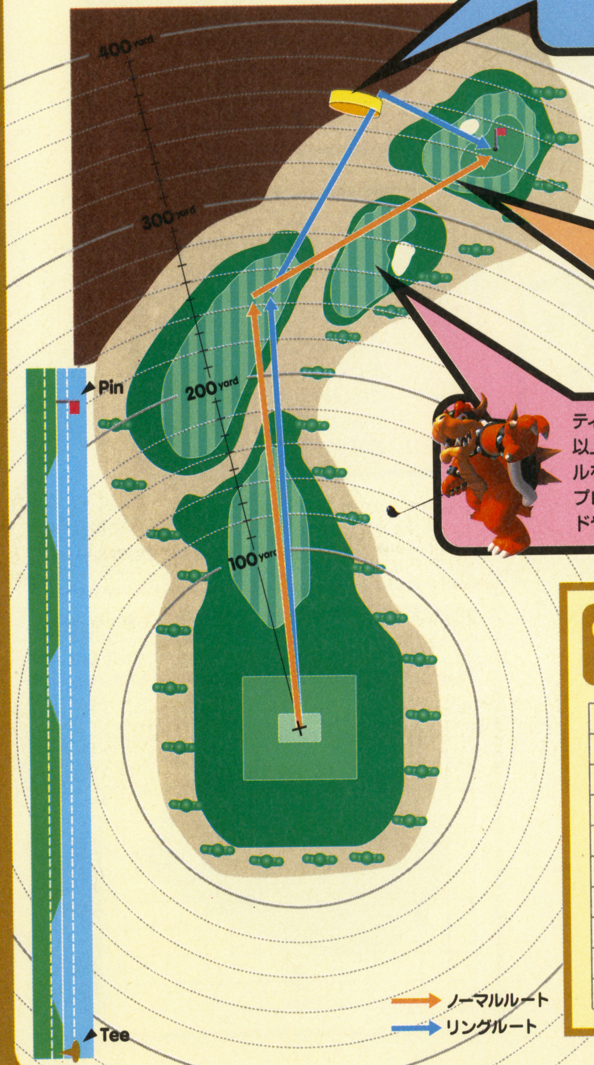
HOLE 5

400Yards　Par4

小島のように点在するフェアウェイを渡っていくミドルホール。それぞれのフェアウェイは、先端へいくほど面積が狭くなっており、距離感のミスの代償は深いラフからのアプローチで払うことになる。グリーンの回りはいたって平穏なので、ティーショットのデキがスコアメイクに大きく関わる。

5

「いわにむかって　うて！」のタイトルのとおり、リングの奥にそびえる岩山へセカンドショットをバウンドさせ、リング通過と同時にグリーンオンにもトライ。高さとバウンド分を足した飛距離を考え、クラブはドライバーを選択。そしてリングの右端をトップスピンの低弾道ボールで狙おう。

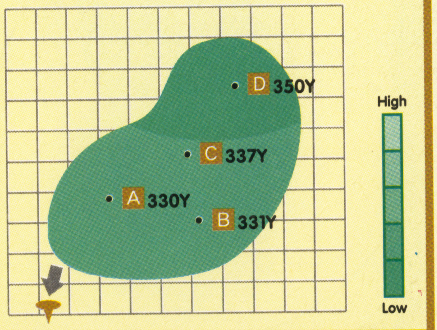


グリーン手前のフェアウェイは、右へ大きく傾斜している。バウンドしたボールがウエストエリアへこぼれ落ちるほど悪質なものではないが、アプローチはグリーンへ直接キャリーで届くボールのほうがベターといえる。

ティーショットでキャリーを240ヤード以上出せる状況なら、この小島へボールを運ぶことが可能だ。ウェッジでのアプローチなら、少し神経を使うフェードやドローの特性も気にならない。

Green Data

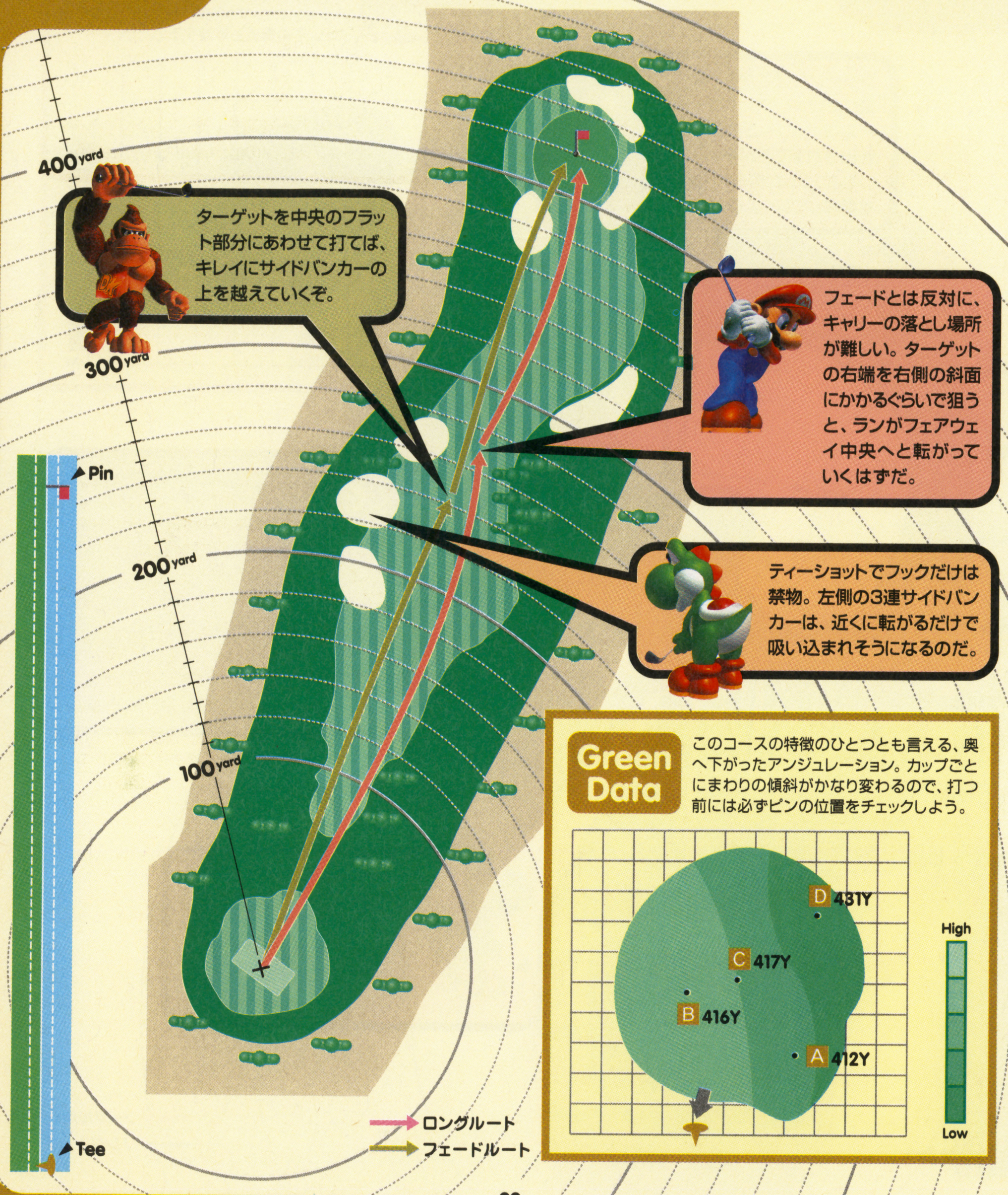
画面で見ると手前部分が高く感じるが、実際は奥へと下った傾斜を持つ。いちばん奥のDの位置にカップがあるとき以外は、手前のフラットなスペースへ運びたいところ。



HOLE 6

420Yards　Par4

一見広々としたフェアウェイが伸びるパー4だが、左右でコンセプトの違うハザードが待ち受ける。まず右には外側のラフへ向かって急激な下り坂。そして左には効果的にバンカーが点在している。進むべき道はじつに狭い。風との慎重な対話が必要なラウンドでは、難関のひとつとなるだろう。



Green Data

このコースの特徴のひとつとも言える、奥へ下がったアンジュレーション。カップごとにまわりの傾斜がかなり変わるので、打つ前には必ずピンの位置をチェックしよう。

ヘイホーデザート

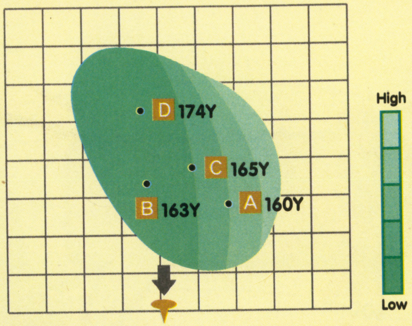
HOLE 7

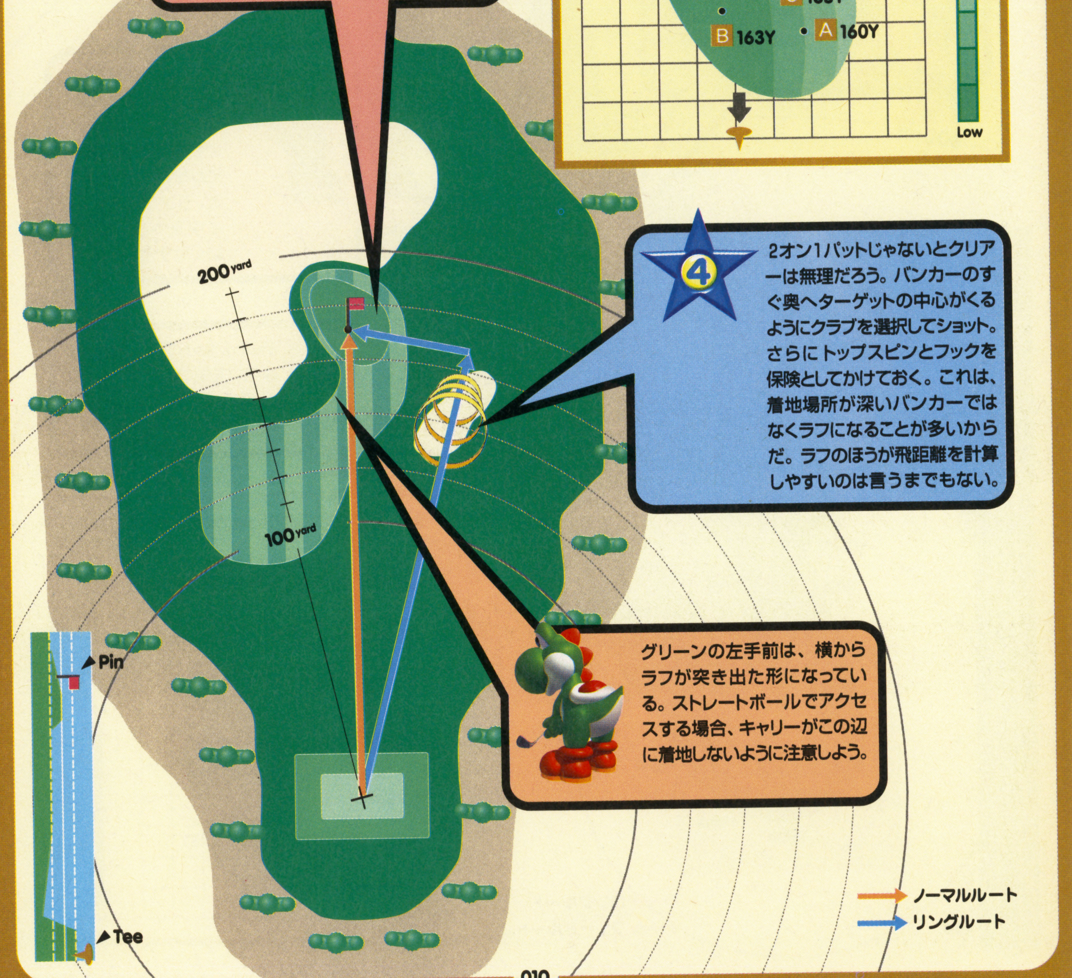
170Yards | Par3

打ち下ろしのパー3だ。ピンまでの実際の距離よりも5ヤードほど短く飛ばすつもりでクラブとパワーを調節。グリーン周りは、手前を除いてもかなりハードな様相。とくにグリーンが奥へ下っていることも手伝って、少しオーバーしただけで奥で口を開けた広大なバンカーへ一直線となってしまう。

Green Data

左右でかなりの高低差があるこのコースのなかでも、屈指の難しさを誇るアンジュレーション。カップが左側の2ヵ所のどちらかなら、その脅威も半減するのだが……。

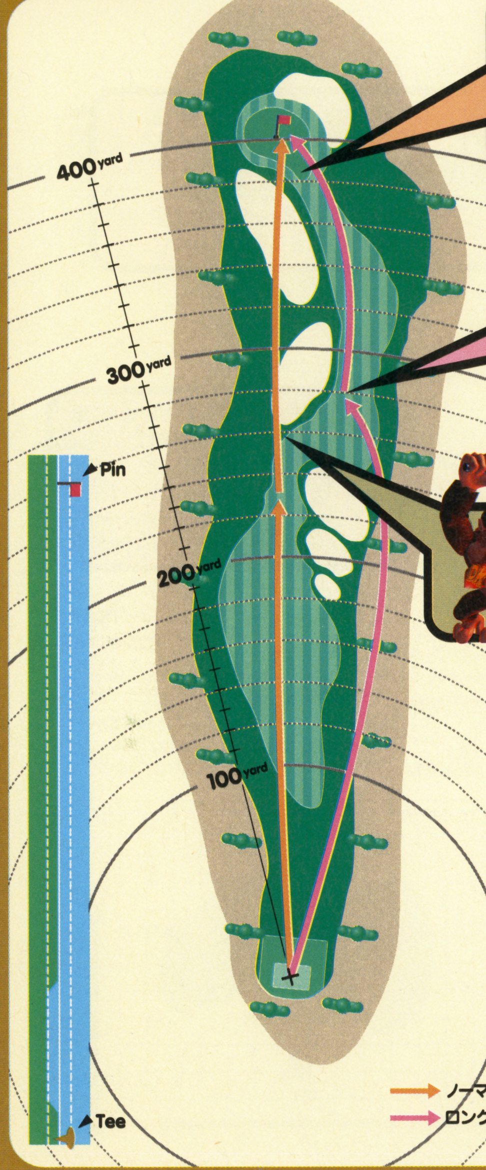




HOLE 8

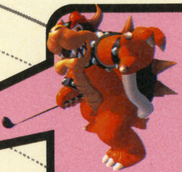
403Yards Par4

日本列島のようなフェアウェイを持つミドルホール。解説もその線で進めてみよう。ティーグランドから220～240ヤード地点、ちょうど近畿地方に当たる部分が3連バンカーによってくびれていて、幅が狭くなっている。かなりの横風が吹くラウンドなら、手前の中国地方へ刻むのも得策だ。





グリーンの手前部分は奥へ急勾配。キャリーをここへ運んでも、ランはほとんど期待できない。実際は打ち下ろしなのだが、少し強めに打つことで、グリーン奥のフラットスペースへ直接アクセスしたいところ。



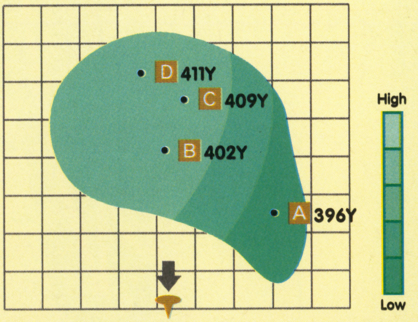
ティーショットをキャリーで245ヤード飛ばせれば、3連バンカーも越えて、一気に関東地方までボールを運べる。ドロー特性のキャラクターなら、東北地方のカーブに沿ってアプローチすることで、グリーンの形を一番長く有効に使えるぞ。



フェードボールの特性を活かすと、北陸地方付近の右へのカーブをスムーズにランで転がせる。ただし、ドンキーならターゲットの位置はフェアウェイ左側ギリギリに合わせる感じで。

Green Data

北海道にあたるグリーンは手前が急激に下がっていて、奥にフラットスペースが広がる。いちばん手前のA以外なら、ボールの止まりやすさも考えて、大胆に奥を狙いたい。



ヘイホーデザート

HOLE 9

550Yards | Par5

アウトのラストを飾るパー5は、複雑な形をしたバンカーが点在するフェアウェイが特徴だ。無難に3オンを考えるならあまり難しいホールではないが、ロングドライブで2オン狙いとなると、ボールの落とし場所に悩まされるはず。グリーン手前にある、アゴの高いバンカーにも要注意。





セカンドショットがフェアウェイ左奥のバンカーへ近づくほど、そのあとのアプローチが角度的に楽になっていく。ただし、グリーン手前はかなりの角度で上っているため、中央か奥へボールを運ぶつもりで飛距離を考えるようにしたい。

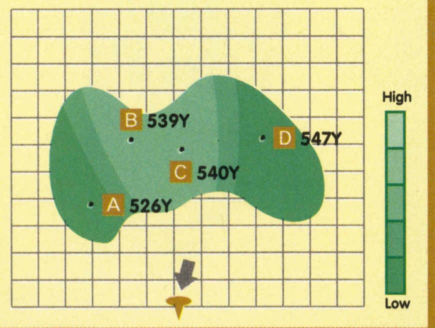


ティーショットの落とし場所はかなり難しい。バンカーとの兼ね合いに悩むぐらいなら、パワーショットを使って一気にキャリーオーバーしてしまおう。

ノーマルルート
ロングルート

Green Data

英字でいうMの如き複雑な形もさることながら、傾斜のほうも3段グリーンと呼べるかなりの難物。奥行きは狭いが周囲はハザードだらけなので、ピン奥をバックスピンで狙おう。

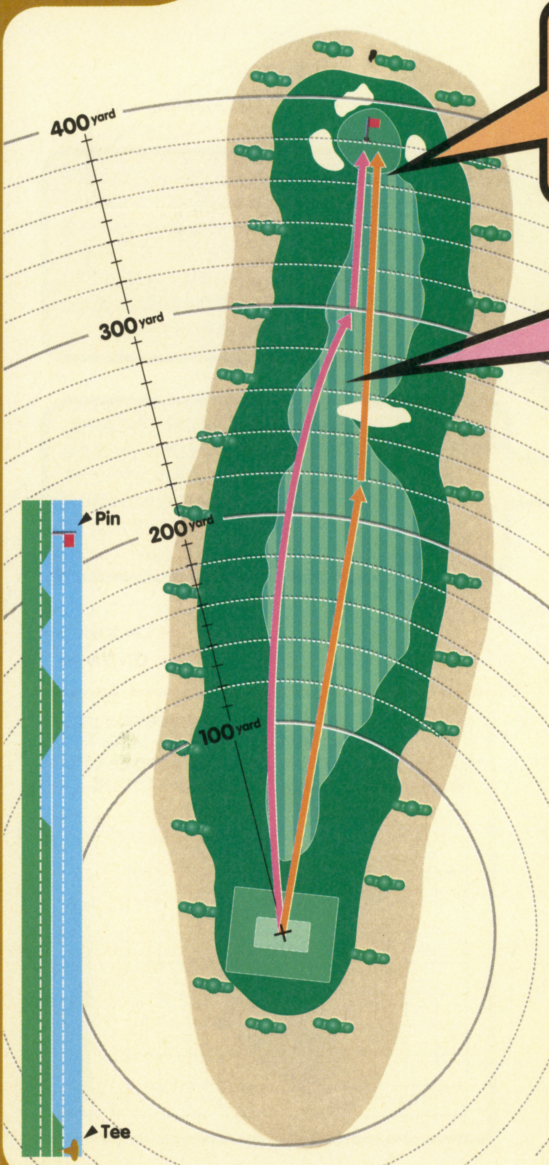


ヘイホーデザート

HOLE 10

380Yards　Par4

アウトのホール6と正反対の特徴を持つミドルホールだが、こちらはティーグランドから260ヤード地点を境に急激なアップヒルとなっている。ホール全体を見てもフェアウェイの左右端は起伏が激しく、アプローチをかなり不安定なライで行わなければならない。まずはセンターキープを心がけよう。





手前のフェアウェイから甲羅グリーン中央へ向かうラインは、かなりの上り坂となっている。ここにアプローチのキャリーを落とすと、ランがなかなか伸びない。狙いを少し奥へ設定したほうが正解。

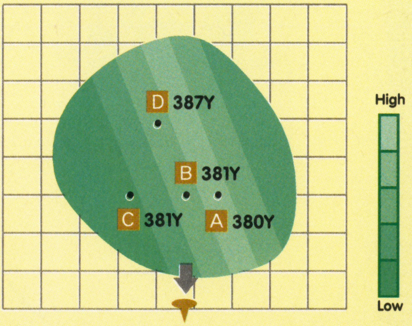


アップヒルの最高部へボールを運びたいなら、キャリーで300ヤード飛ばす必要がある。中途半端にトライすると、この斜面に跳ね返されてバンカーへと引きずり込まれることに。ときにはクラブを短く持つことも勇気。

ノーマルルート
ロングルート

Green Data

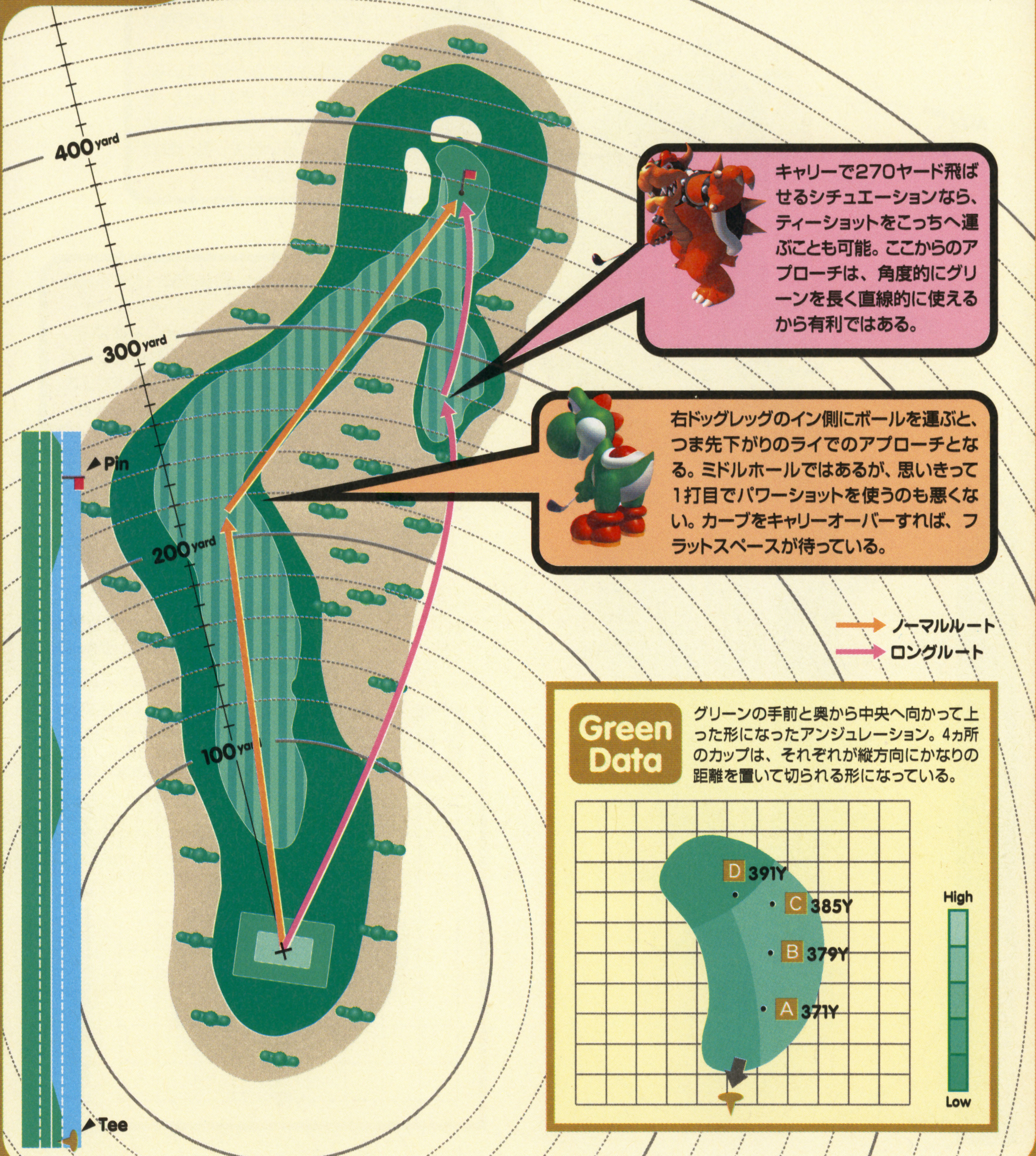
中央が盛り上がって左右へいくほど下っている、ボールが止まりにくい甲羅グリーン。パット時には左右のラインとともに、かなりの高低差も考慮することをお忘れなく。



HOLE 11

412Yards | Par4

距離設定が長めのフェアウェイが右ドッグレッグを描くミドルホール。ほとんどのキャラクターの場合、セカンドでのアプローチはロングアイアン、状況によってはウッドということになる。グリーンまでが打ち上げであることを考えると、ティーショットで距離を稼いでおきたい。



Green Data

グリーンの手前と奥から中央へ向かって上った形になったアンジュレーション。4ヵ所のカップは、それぞれが縦方向にかなりの距離を置いて切られる形になっている。

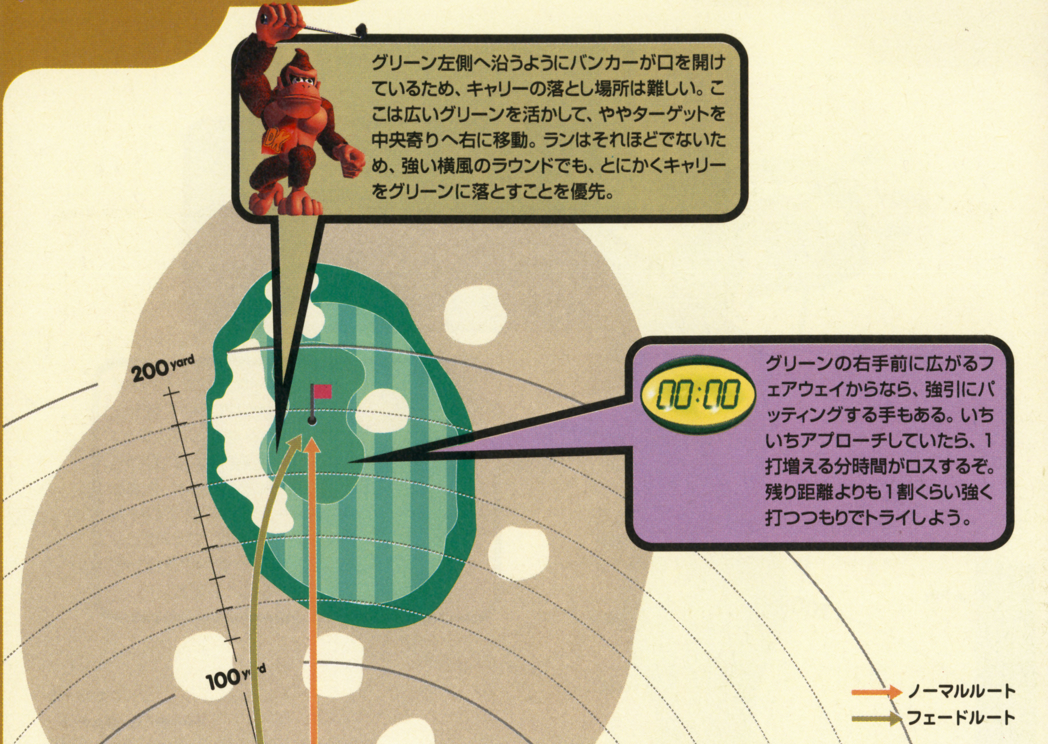
ヘイホーデザート

HOLE 12

177Yards　Par3

ターゲットとしては特大の部類に入るグリーンを持つパー3。若干の打ち上げであることを考えずにクラブを選ぶと、グリーンには乗ったものの、ピンまでの距離を相当残すパターンとなる。見た目の残り距離よりも5ヤード奥へ飛ばすつもりでクラブ選択しよう。多少強めに打ってもOKだ。

グリーン左側へ沿うようにバンカーが口を開けているため、キャリーの落とし場所は難しい。ここは広いグリーンを活かして、ややターゲットを中央寄りへ右に移動。ランはそれほどでないため、強い横風のラウンドでも、とにかくキャリーをグリーンに落とすことを優先。

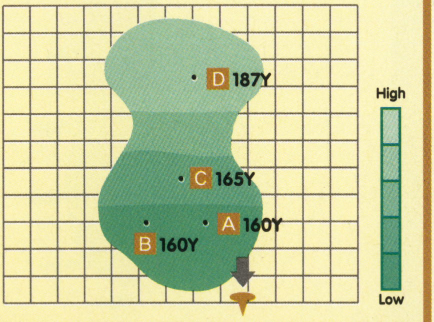


グリーンの右手前に広がるフェアウェイからなら、強引にパッティングする手もある。いちいちアプローチしていたら、1打増える分時間がロスするぞ。残り距離よりも1割くらい強く打つつもりでトライしよう。



Green Data

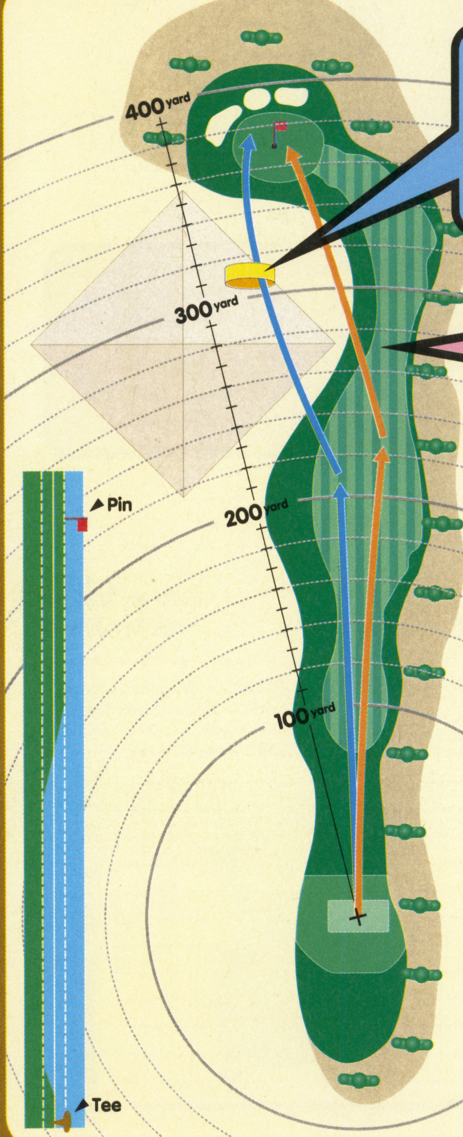
このコースには珍しい、奥へと上っていくイージーな傾斜を持つ。ただし、手前と奥で分割された二段グリーンなので、カップが奥のときに手前に乗せると難度が大幅アップ。



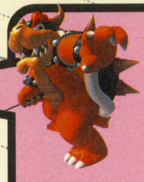
HOLE 13

370Yards　Par4

終盤から急激に左へ曲がるフェアウェイが特徴のパー4。最短距離を進むとアプローチは大きな谷越えとなる。グリーン手前が深いラフなこともあり、キャリーでグリーンまで直接届くボールは必須。グリーンへは5ヤードほどの打ち上げとなる。10ヤードぐらい先へ飛ばす気持ちで。



③ ティーショットをフェアウェイの左側へ寄せられるかどうかがポイント。なるべく空中に浮かぶリングとグリーンが直線に近い状態で並ぶようにに心がけたい。そして、リングの右端をスライスボールで通過させてグリーンオン。

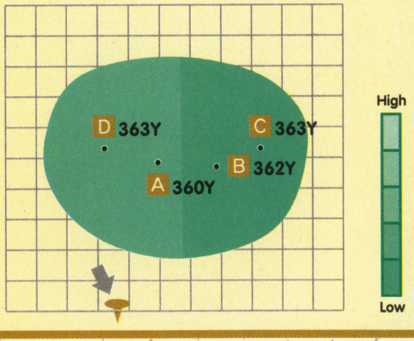


ロングヒッターなら、フェアウェイが細くくびれた270ヤード付近までティーショットを運べるはずだ。アプローチが谷越えなのは変わらないが、クラブが短い分、止まりやすいボールを打てる。ドロー系のキャラクターなら、フェアウェイに沿ってグリーン右側の花道からアクセスすることも可能。

ノーマルルート
リングルート

Green Data

右から左へ向けて上り坂のアンジュレーション。ほとんどフラットといってもよく、アンダースコアでフィニッシュするための敵は、カップまでの距離感だけだろう。

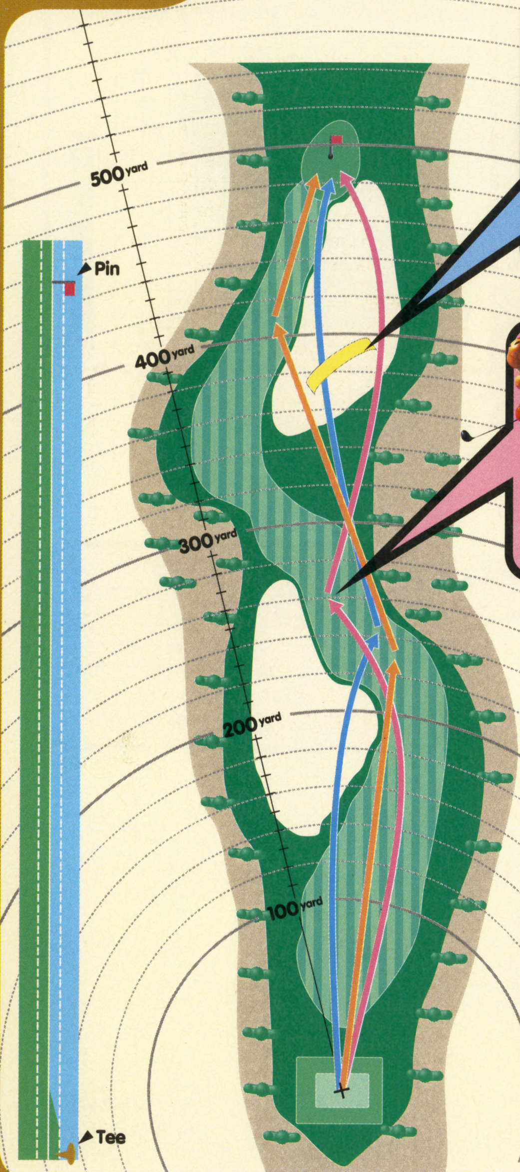


ヘイホーデザート

HOLE 14

535Yards | Par5

スネークロードのフェアウェイは、中盤で一段アップヒルになっている。ティーショットでこの高い部分へ運ぶことができれば、イーグルのチャンス。ただし、手前は深く巨大なバンカーが口を開けている。ここに放り込むと、前方へのショットはほぼ不可能。いったん右へ出すしかない。



1

パーキープでクリアーできるリングショットだが、たまには大胆にイーグルを狙ってみよう。そこで出番となるのが、超低弾道が売りのワリオだ。このキャラクターなら、ティーショットで240ヤード前後も飛ばしていれば、アプローチではリングを通過しつつグリーンへ届くボールがドライバーで打てる。風にもよるが、パワーショットを使う必要はない。

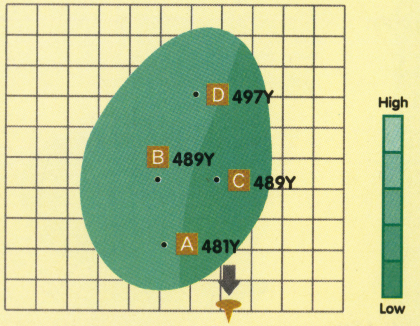


ティーショットで巨大なバンカーの右側をキャリーオーバーできれば、2オンの可能性が見えてくる。フェード系のキャラクターなら、フェアウェイに沿う形でボールを運べるのだが、問題は、右側からアクセスするドロー系の場合。ピンが手前に立っていても、グリーン奥までキャリーで届かせるつもりで打ちたい。

ノーマルルート
ロングルート
リングルート

Green Data

右手前のバンカー近くが外側へ下っている以外は、ほとんどフラットと思っていい。3ヵ所のカップがこのフラットスペースに切られることを考えれば、難度は低い部類か。



ヘイホーデザート

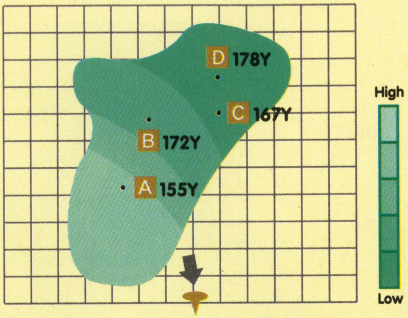
HOLE 15

164Yards　Par3

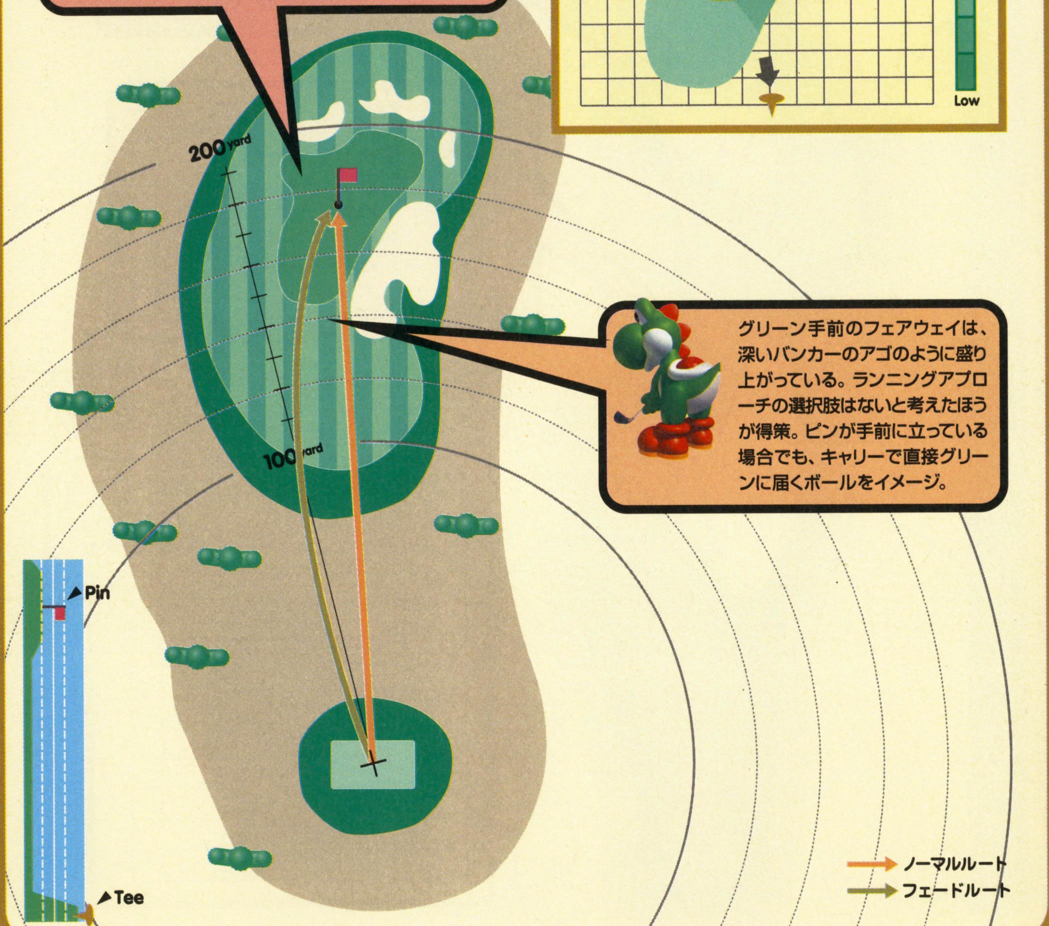
高低差は30ヤード以上、まるで谷底へ打つかの如きパー3。15ヤードほど短い飛距離のクラブでOK。風の影響を受けやすいことにも注意したい。グリーンは広く乗せるのは簡単だが、ピンをデッドに攻めるとなると話は違ってくる。このガイドブック直伝のマイナス1ショットで微妙に飛距離を調節。

Green Data

まるで影絵の犬のような形。傾斜はというと、奥と手前に高低差のあるフラットスペースが広がる典型的な2段グリーンだ。手前か奥か、乗せる場所をきちんと決めよう。



ちょうど犬の耳に当たる場所に注目。打ったボールが左前方へ転がるドロー系キャラクターがこれを活かさない手はない。バンカーを避けるように、ターゲットをグリーン中央より左へ移動させよう。ロングアイアンでのアプローチとなるため、ドロー特性はけっこう無視できないレベルなのだ。



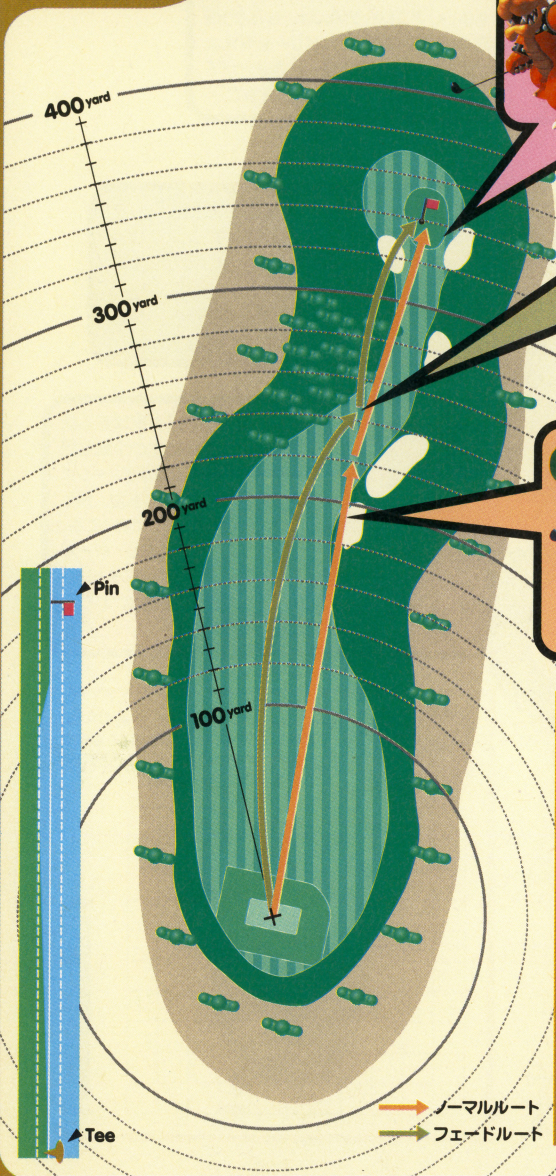
グリーン手前のフェアウェイは、深いバンカーのアゴのように盛り上がっている。ランニングアプローチの選択肢はないと考えたほうが得策。ピンが手前に立っている場合でも、キャリーで直接グリーンに届くボールをイメージ。

ヘイホーデザート

HOLE 16

340Yards | Par4

グリーンへ近づくほど細くなるフェアウェイは、横風の吹くラウンドでは落とし場所に苦労するはず。加えて、グリーン手前はかなりのアップヒル。実際よりも15ヤードプラスした飛距離でクラブを選ぼう。ティーショットで、残り回数と相談してパワーショットを選択するのも悪くない。





もし、ラウンド中に強いフォローの風が吹いていれば、クッパかドンキーならパワーショットを使うことで1オンへ挑戦できる。ピンが手前に立っていれば、夢のアルバトロスを見ることができるかも。



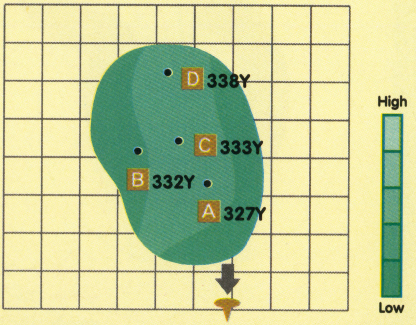
フェードボールなら、フェアウェイ中盤の右カーブを有効に活かせる。ただし、アプローチではサボテンの上を通ることになるので、ティーショットの落とし場所はやや右寄りを意識したい。



ストレートに攻める場合、キャリーの着地地点がいちばん手前にあるバンカー付近、またはその左側にあるラフ付近になる。横風の計算に迷うようなら、少しアドレスを左へ向けて、保険をかけておこう。ただし、あまり左を狙うと、群生したサボテンがアプローチ時のハザードとなってしまう。とくに低弾道のキャラクターは要注意。

Green Data

両端の下り坂が、左右へコントロールミスしたボールをはき出すが、中央はフラットだ。小さなグリーンなので、極端なフェードやドロー特性のキャラはアドレスで悩むかも。

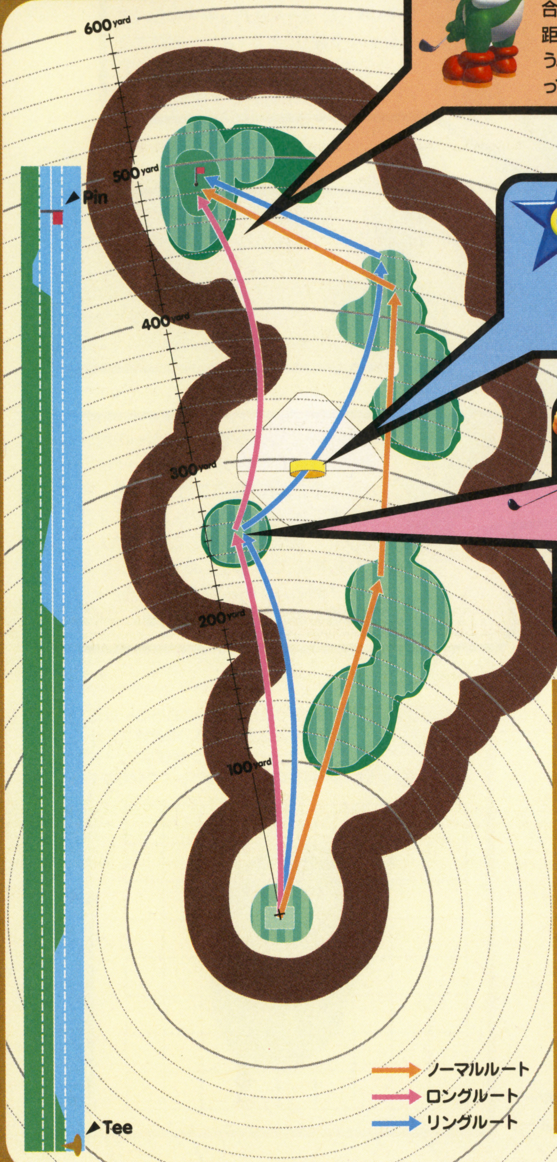


ヘイホーデザート

HOLE 17

570Yards　Par5

かなり距離の長いパー5。フェアウェイが島のように点在しており、そのまわりは深いバンカーが海のように広がる。それぞれの小島の上はほとんどフラットな場所がなく、フェアウェイの端はバンカーへ向かって下っている。バックスピンで小島の中央を狙い、グリーンまで渡っていこう。



グリーン手前のバンカーはかなり深い部類に入る。クラブの飛距離が半減する場合も多い。アプローチ時には、SWより飛距離の出るPWでのリカバリーも考えよう。グリーンは砲台状でエッジの部分が下っている。中央まで届かせる気持ちで。

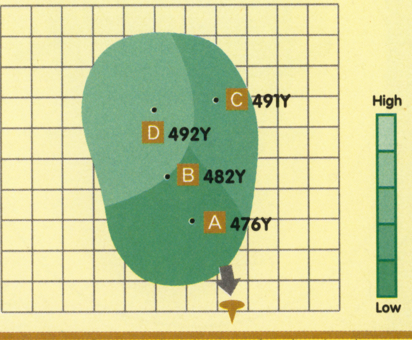
⑥ ティーショットは2オン狙いと同様に、左の小島へ運ぶ。ポイントはリングを通過するセカンドショット。リングの左端を斜めに通過して、その先にある向こう側の小島へ着地するラインを描きたい。意識的にフックさせておくとベター。



キャリーで240ヤード以上飛ばせる状況ならば、ティーショットで左の小島を狙える。問題は岩山との距離がティーショットよりも近いセカンドショットだ。残り距離からウッドが適正クラブであっても、あえてロングアイアンを選択し、ボールを少しでも高く上げて山越えにチャレンジしたい。短くなった飛距離は、パワーショットを使うことでカバー。

Green Data

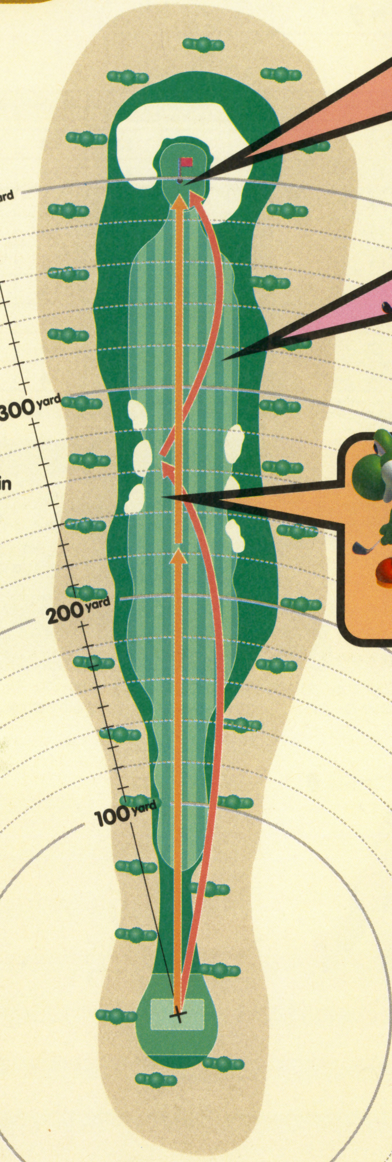
奥へと上った傾斜は急だが、手前のAとBは比較的イージー。奥のふたつは、距離を残すと左右への傾斜を読むラインが残るパターンが多いので注意が必要。



HOLE 18

398Yards | Par4

ラストはグリーンまで一直線のミドルホール。ただしこのフェアウェイ、220～250ヤード付近は左右が下った形になっているので注意。ティーショットでは風との対話に加えて、トップスピンも保険としてかけておきたい。グリーンを髪の毛のように囲むカツラバンカーは、アゴがかなり深い。







カツラバンカーの耳元がジャマになり、クッパなどは右を回ってグリーンへアクセス、というわけにはいかない。ターゲットの中心をグリーン中央やや左まで移動させて、キャリーの着地点を調節しよう。



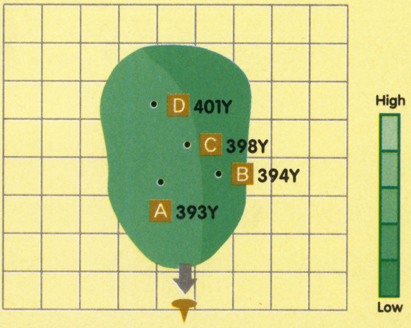
300ヤード付近からはゆるやかなダウンヒル。ランがかなり稼げるので、アプローチはウェッジでOK。クッパやドンキーでもストレートに狙えるわけだ。若干の打ち上げとなるため、実際の残り距離よりも5ヤード先へ飛ばすつもりでショット。



ティーショットが少しでも左右へずれると、サイドバンカーへと転がり落ちてしまう。パワーショットが余っているなら迷わず使って、この危険地帯をキャリーオーバーといきたい。

Green Data

やや右側からアクセスしたほうが、上り坂を活かしてボールが止めやすいアンジュレーション。どのカップでも、中央へボールを運べれば距離的にはバーディーチャンス。



COURSE 3

ヘイホーデザート

コースデータ

HOLE No.	yards	パースコア	平均スコア	平均パット数	降水確率
1	360	4	4.1	1.1	0%
2	153	3	3.3	1.2	0%
3	520	5	4.7	1.3	0%
4	390	4	4.0	1.3	5%
5	400	4	4.3	1.1	0%
6	420	4	3.7	1.2	0%
7	170	3	2.8	1.3	0%
8	403	4	3.9	1.2	0%
9	550	5	4.4	1.3	0%

HOLE No.	yards	パースコア	平均スコア	平均パット数	降水確率
10	380	4	3.9	1.3	5%
11	412	4	4.4	1.4	0%
12	177	3	2.9	1.5	0%
13	370	4	4.0	1.3	10%
14	535	5	4.9	1.2	0%
15	164	3	2.8	1.3	0%
16	340	4	3.8	1.1	0%
17	570	5	4.8	1.5	0%
18	398	4	4.3	1.6	0%

※これらの数値はすべて編集部で独自に調査・集計し、算出したオリジナルのデータです。平均スコア、平均パット、降水確率は3人のプレイヤーがトーナメントモードをそれぞれ10ラウンドずつ、合計30ラウンドして結果を集計しました。平均スコアと平均パットは小数点2位以下を四捨五入、降水確率は小数点以下を切り捨てています。

総評

砂漠に囲まれたコースだけあり、降水確率は他と比べるとかなり低い。その代わりというわけではないが、強風のラウンドが多いことを覚えておこう。加えてフェアウェイの起伏も激しいので、横風との対話がスコアメイクの大きなポイントとなる。甘く見ていると、ティーショットから大変な目に遭うぞ。



中央しかフラットな場所のないフェアウェイ。問われるのは、飛距離よりも左右へのコントロールだ。



グリーンの傾斜は、ほとんど奥へ下がったものばかり。ランがいつもよりも伸びるので要注意。



MARIO GOLF

ヨッシーアイランド



HOLE 1

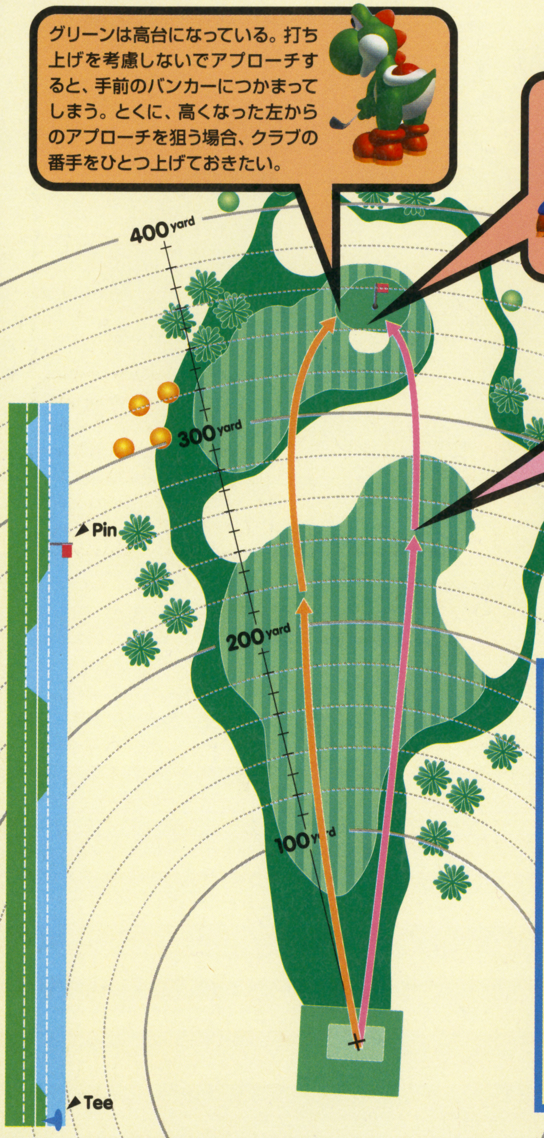
350Yards　Par4

ティーショットは、フェアウェイ中央にあるフラットな丘の上に落としたい。風と相談して、左右どちらの丘に落とすかを判断しよう。アプローチはグリーン手前のバンカーを避け、横から回り込んだほうがベター。ただし、グリーン左側はかなり高さがあるので、普通より強めに打つように。

グリーンは高台になっている。打ち上げを考慮しないでアプローチすると、手前のバンカーにつかまってしまう。とくに、高くなった左からのアプローチを狙う場合、クラブの番手をひとつ上げておきたい。

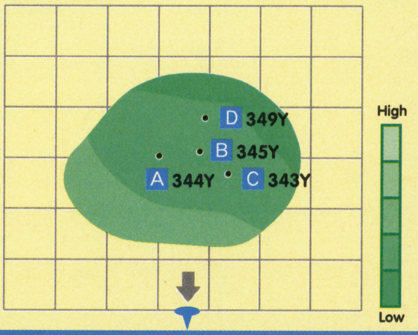
ここから見たグリーンは奥に下っているため、アプローチが難しい。手前のグリーンエッジギリギリにボールを落とすつもりで、ボールの下を叩いてランが出ないように注意しつつ打とう。

ロングヒッターでプレイしていたり、フォローの吹くラウンドなら、右の山を狙ってティーショット。こうすれば飛距離を稼げるだけでなく、グリーンの右側からアプローチしやすくなるからだ。



Green Data

左手前から右奥へ、ゆるい下りのスロープとなっているが、中央のフラットエリアは案外広い。ピンではなくグリーン中央を狙ってアプローチしたほうが、楽にパットができる。



ヨッシーアイランド

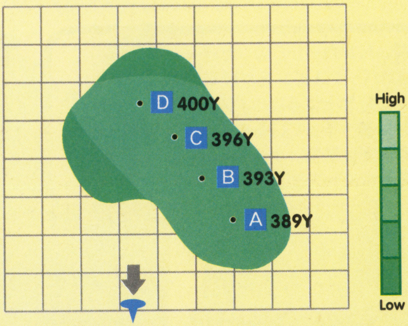
HOLE 2

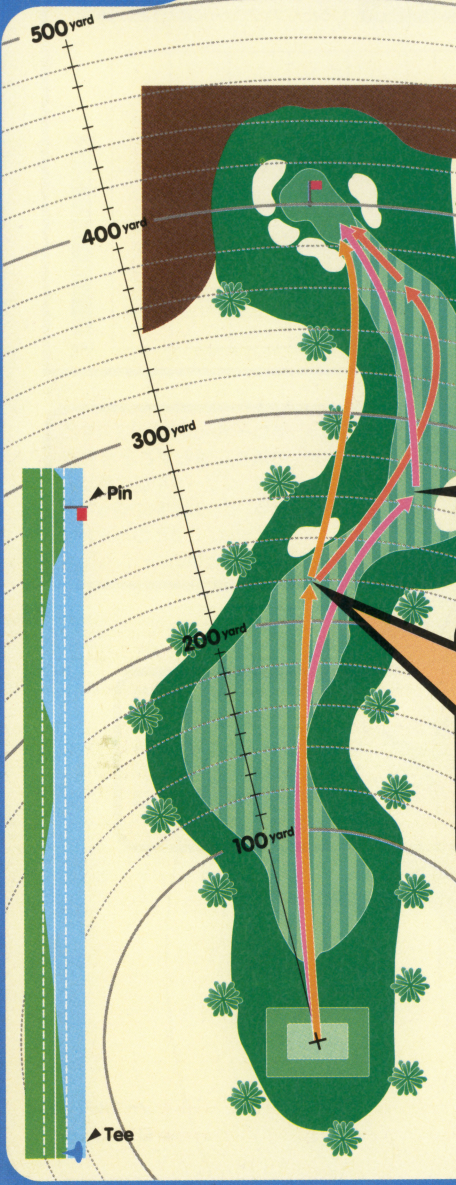
400Yards | Par4

ティーからフェアウェイ中央のバンカーまでは下り斜面で、そこからグリーンまでは上り斜面になっている。パーキープなら、2打目で強引にグリーンを狙わず、グリーン手前の上りになったフェアウェイに落としたほうが確実だ。ティーショットで280ヤード近く飛ばせる状況なら、バーディーを狙える。

Green Data

奥が少し下りスロープになっている以外は、フラットでイージーなグリーンといえる。ピンが奥に切られていてもデッドに狙う必要なし。逆にアプローチでオーバーしやすく危険だ。







フェアウェイの窪んだ部分からグリーンへは、じつに約20ヤードもの打ち上げになる。40ヤード近く余計にに飛ばすつもりでクラブを選んでいきたいところ。



セカンドショットで木のあいだを抜けていくアプローチショットを狙うことも可能だが、グリーンは高台になっていることに注意。風が強いときには球筋が不安定になるので、あまりオススメできる一手ではない。

ノーマルルート
ロングルート
ドロールート

ヨッシーアイランド

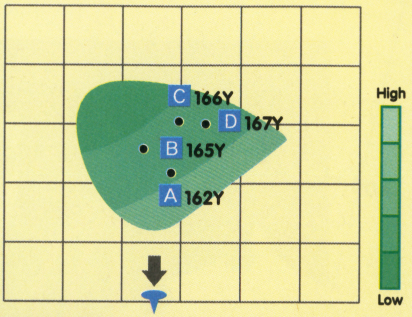
HOLE 3

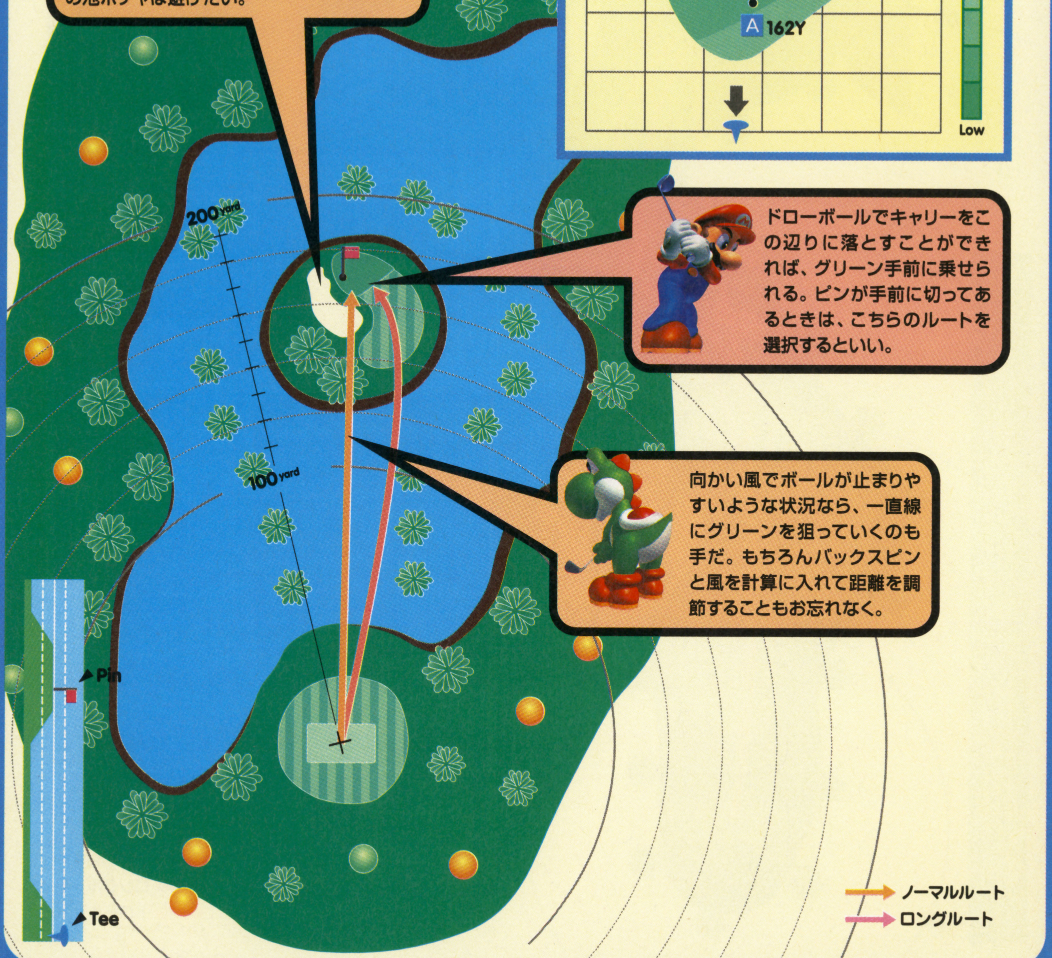
170Yards　Par3

ややや打ち下ろしになっているショートホール。グリーン手前ではアゴの深いバンカーが大きく口を開いているため、右側からドローぎみのショットでアプローチするのがベターだ。グリーンをオーバーすると、即ウォーターハザードのおそれもある。飛距離と風には十分注意すること。

Green Data

奥から手前へ上りのスロープになっており、手前側のエッジは山のように盛り上がっている。グリーン手前にアプローチしたいなら、いったんフェアウェイに落とすという手も。



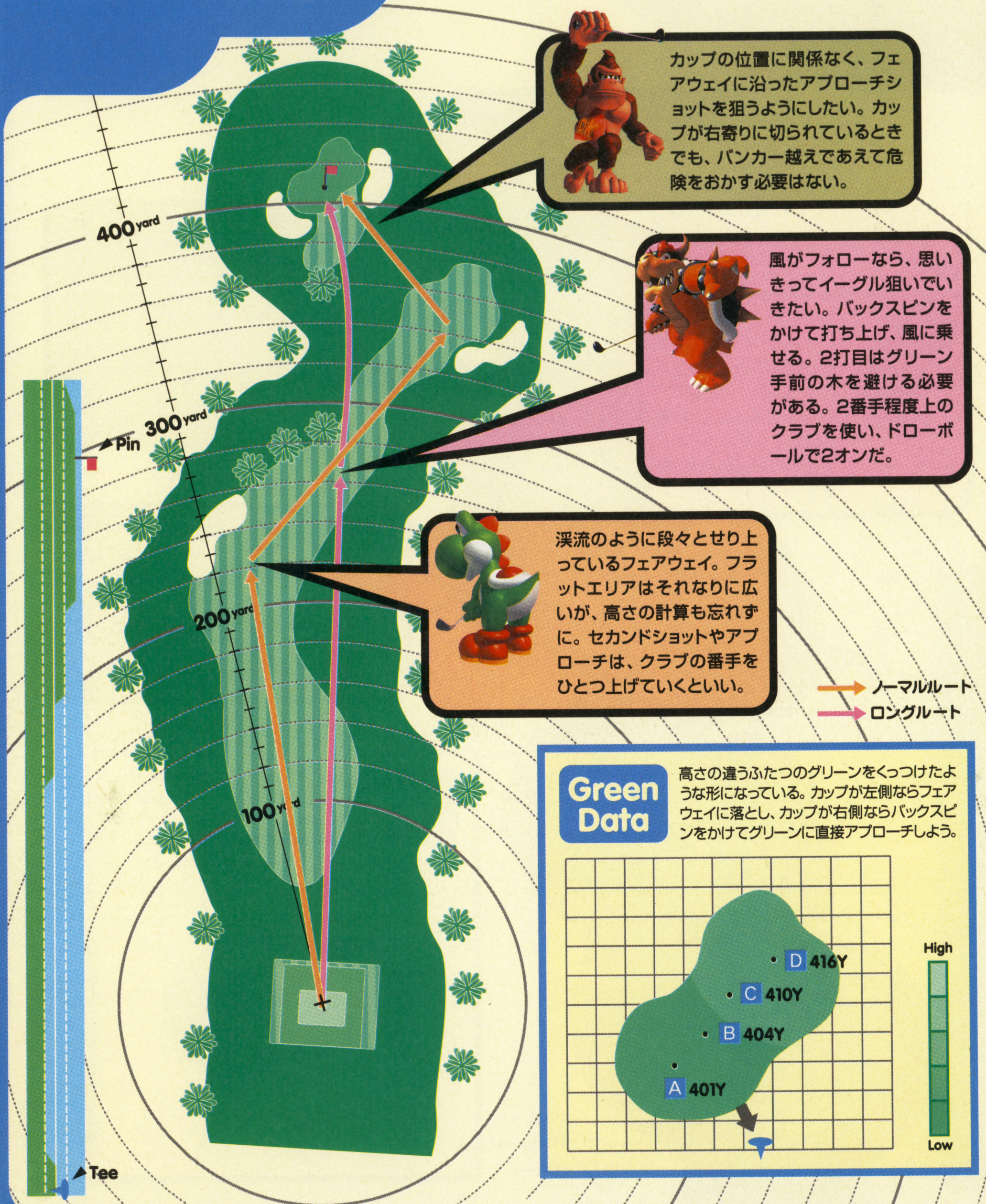


ヨッシーアイランド

HOLE 4

470Yards　Par5

左右へ曲がりくねった細いフェアウェイは、全体的に上り斜面だが、フラットな場所が3ヵ所ある。フォローのラウンドなら、ティーショットで2番目のフラットゾーンへ乗せることで2オンさせ、イーグルを狙うことも可能。逆に横風がジャマする場合は、フェアウェイをキープすることに専念したほうがいい。



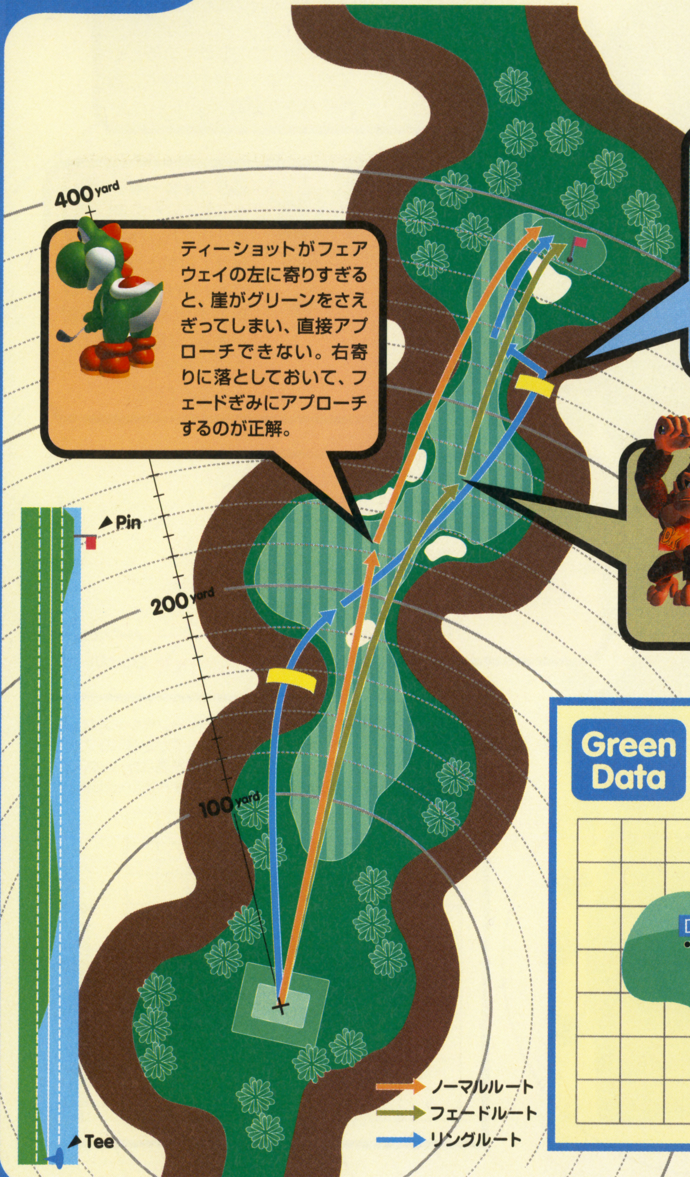
Green Data

高さの違うふたつのグリーンをくっつけたような形になっている。カップが左側ならフェアウェイに落とし、カップが右側ならバックスピンをかけてグリーンに直接アプローチしよう。

HOLE 5

382Yards　Par4

左右を崖に囲まれた谷底のこのホールは、フェアウェイ中央が細くくびれ、バンカーが配置されている。ティーショットでくびれ部分を越えるか、手前に落とすか悩むところだ。さらに、高台になったグリーンの手前で手招きをするバンカーにも注意したい。キャリーでグリーンに直接オンさせよう。



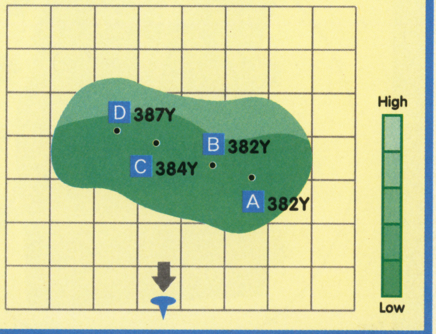
ティーショットがフェアウェイの左に寄りすぎると、崖がグリーンをさえぎってしまい、直接アプローチできない。右寄りに落としておいて、フェードぎみにアプローチするのが正解。

②ティーショットは思い切りフェードさせつつリングを通過。問題は2個目だが、リングをくぐって崖にぶつかるように打つと、ボールがバウンドしフェアウェイに戻ってくる。

フェアウェイのくびれ部分はダウンヒルになっているので、フェードぎみのボールで斜面に落として転がすことができればベスト。この位置からなら、アプローチをショートアイアンで狙っていける。

Green Data

手前にある深いバンカーがアプローチを難しくしているが、グリーンは非常に平坦なので、乗せてしまえばパッティングはかなり楽。ド真ん中を狙ってアプローチしていこう。

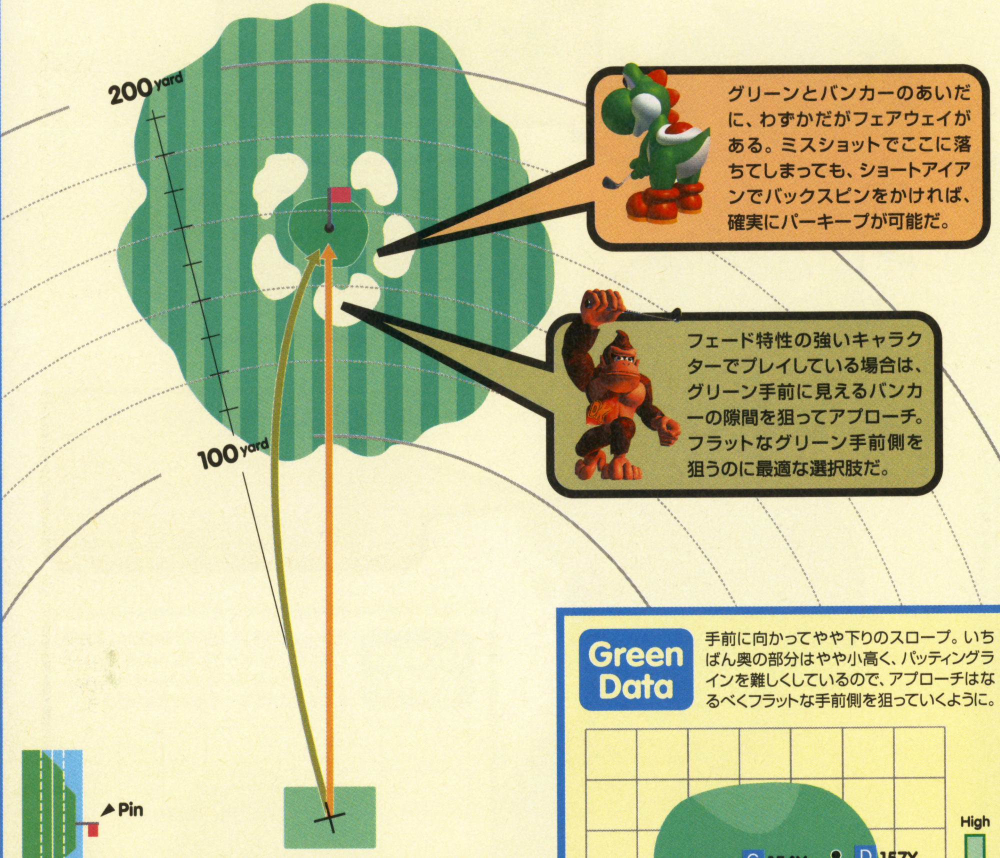


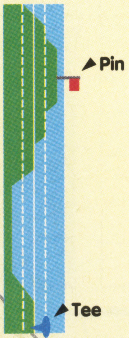
ヨッシーアイランド

HOLE 6

155Yards | Par3

ショートホールながら、約20ヤードもの打ち上げなので、油断は禁物。ロングアイアンに持ち替え、バックスピンをかけて直接グリーンに落とせればベストだが、滞空時間が長くなるので、風の影響を強く受けることをあらかじめ計算しておくこと。パワーのコントロールが物を言うホールだ。

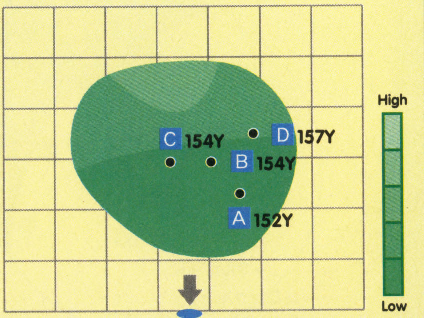




ノーマルルート
フェードルート

Green Data

手前に向かってやや下りのスロープ。いちばん奥の部分はやや小高く、パッティングラインを難しくしているので、アプローチはなるべくフラットな手前側を狙っていくように。



HOLE 7

544Yards Par5

池越えのショットが続くロングホール。常に池ポチャの危険がつきまとうので、イーグル狙いが可能なパワーヒッター以外は、少し短めのドライブで慎重にフェアウェイを渡り歩こう。とくに、打ち下ろしになるティーショットとセカンドショットに対して、打ち上げになるアプローチでは、距離感に注意する必要がある。



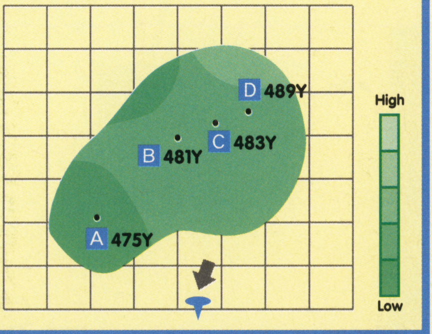
このフェアウェイの奥は狭いうえに甲羅状になっているため、無理にドライブを伸ばす必要はない。手前にあるフラットなエリアを狙ったほうが、次のショットが楽になる。

6 ティーショットで飛ばしすぎると、2個目のリングをくぐりつつフェアウェイをキープするのが難しくなってしまう。バンカー手前のフラットエリアが狙いどころだ。

イーグル狙いなら、ティーショットでフェアウェイのいちばん奥へ打つ。ただし、あまり右側に寄りすぎてしまうと、木がジャマになってセカンドショットに支障が出てしまう。

Green Data

グリーンの手前やエッジ近辺が低く、奥が高くなっている。イーグル狙いなら手前バンカーの右から、確実に寄せるなら左から、回り込むようにアプローチするといいだろう。

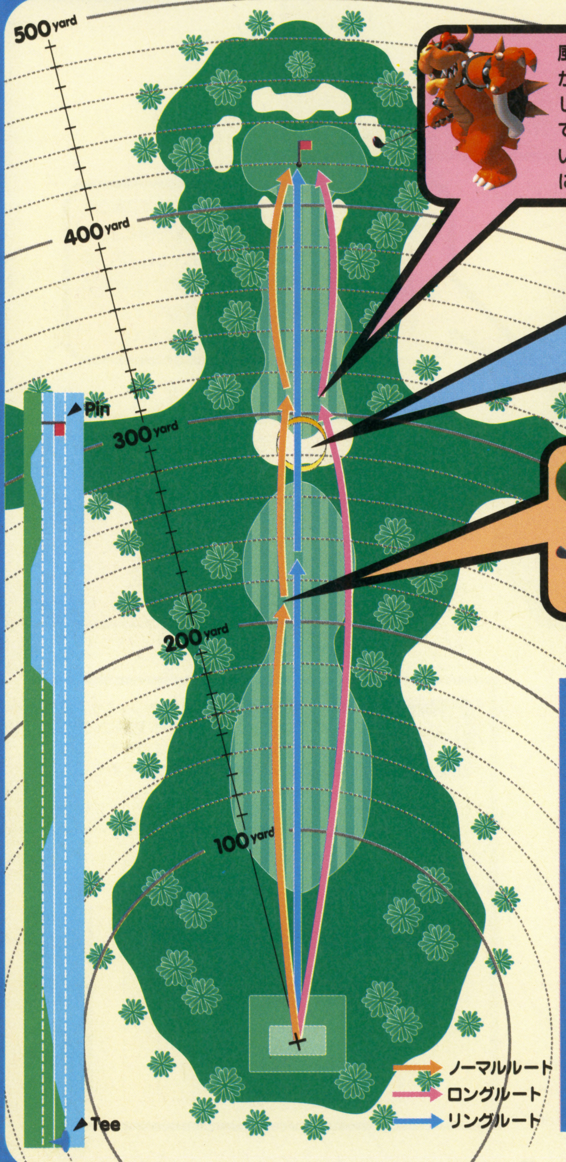


ヨッシーアイランド

HOLE 8

420Yards　Par4

ティーからグリーンまでが一直線に開け、一見するとイージーなホール構成だが、大きく波打ったライのフェアウェイがクセモノ。思うようにボールが転がらないばかりではなく、傾斜で予想外の方向に転がってしまう可能性もある。アプローチショットでは、ライに注意を払うことを忘れずに。



風向きがフォローで、さらにパワーがあれば、一気にバンカーを越えてしまうことも可能。だが、これによってスコアが縮まるというわけでもない。パワーショットを使ってまで無理に狙わず、確実に2オンさせたい。

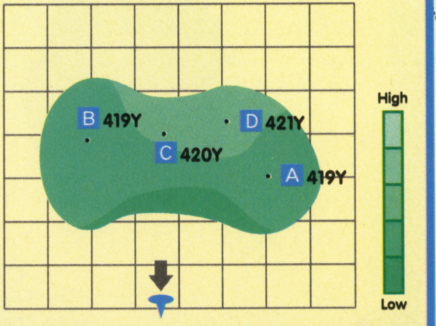
ティーショットでリングをくぐってしまえるなら問題なし。パワー不足のキャラクターの場合は、まずは短めにティーショット。そして、弾道の低いセカンドショットでバンカーを越えよう。



カップがグリーン右側に切られているなら、セカンドショットでフェアウェイ左に落とすと、アプローチが楽になる。カップが左なら、逆に右側を狙っていくのが手だ。

Green Data

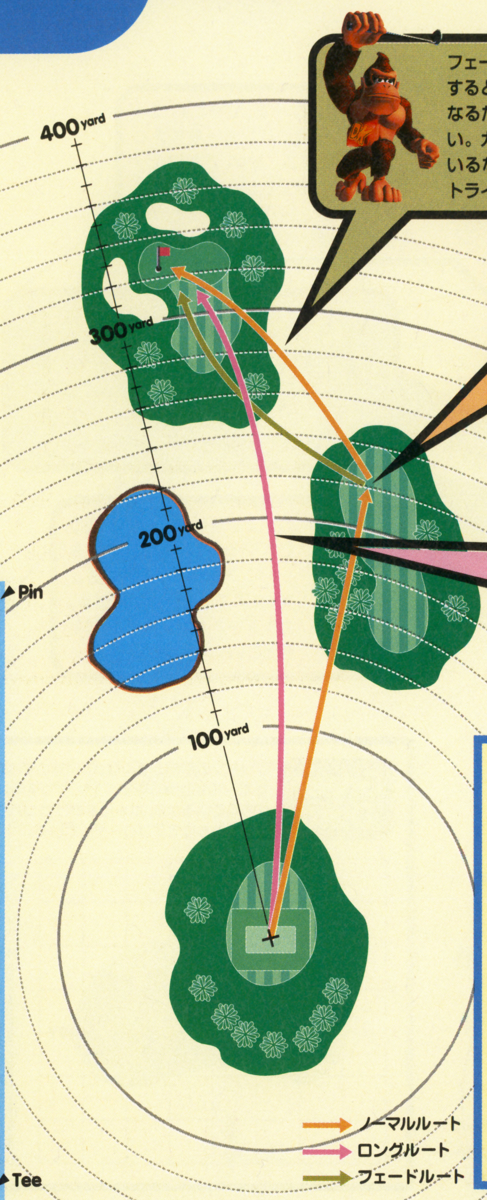
グリーンの手前が低くなっているので、落ちたボールが止まりやすい。カップがAやDに切られているなら、ボールを曲げつつバックスピンをかけてアプローチしていく。



HOLE 9

365Yards　Par4

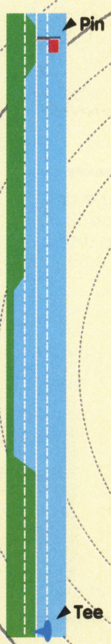
谷底のフェアウェイを経由して高台を進むという、アクロバティックなホール。マリオ以上のパワーがあり、さらに追い風の助けがあれば1オンも可能だが、それ以外なら右のフェアウェイへ打ち下ろして運ぶことになる。この場合、打ち上げてのアプローチになるので、クラブの番手をひとつ上げるのを忘れずに。



フェードボールでアプローチすると、グリーンが上り坂になるためボールが止まりやすい。カップが左側に切られているなら、この打ちかたでのトライをオススメする。

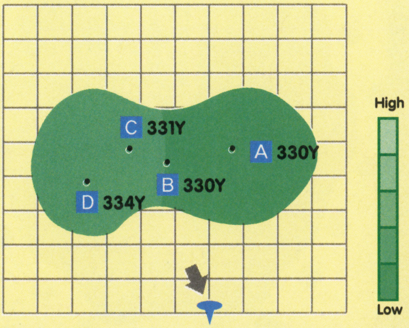
フェアウェイ奥は下り斜面になっているため、雨天時以外はボールが止まりにくい。少し手前のフラットエリアに止めるつもりで、心持ち弱めのティーショットを心がけるといい。

パワーヒッターの中でも、ドロー特性の強いマリオやクッパなら1オンを狙いやすい。手前のフェアウェイに落としてブレーキをかけつつ、ランでグリーンに乗せるつもりで打っていきたい。



Green Data

左右で高さが異なる二段グリーン。カップが右に切られているならフェード気味に、左ならドロー気味のショットでアプローチ。これでグリーンを長く使うことができるぞ。



ヨッシーアイランド

HOLE 10

375Yards | Par4

左に大きくドッグレッグしているうえ、デコボコで狭いフェアウェイに苦しむはず。ライによってボールのバウンド方向が変わることがあるため、パーキープ狙いならバンカー手前、グリーン手前と刻んだほうが確実だ。また、グリーン左手前にある大きく窪んだバンカーも、プレイヤーの距離感を惑わしてくる。



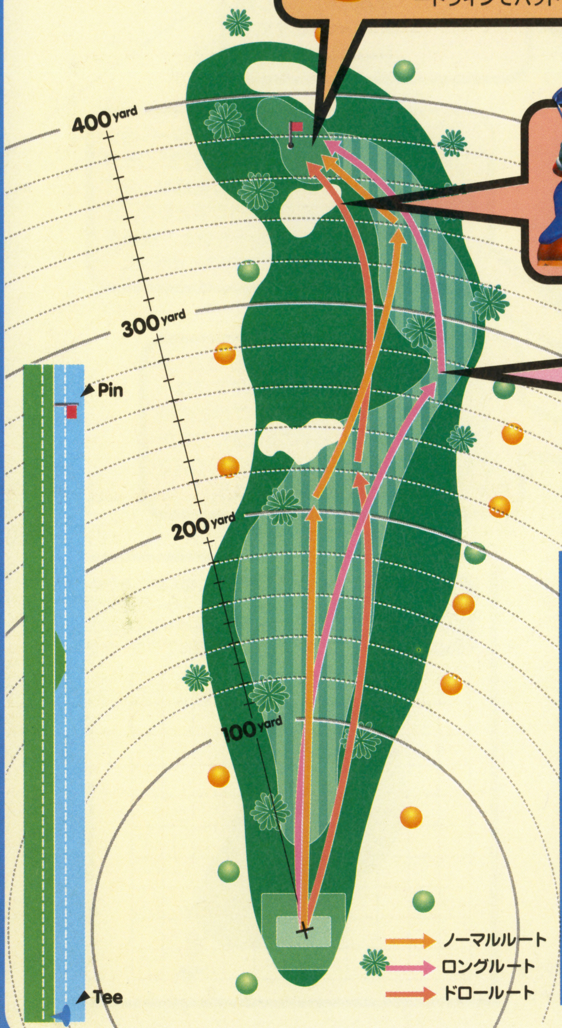
カップがA以外に切られているなら、フェアウェイに沿ってのアプローチがベター。カップの真横にバックスピンでピタリと止めることができれば、ストレートラインでパットできる。



このバンカーは見た目より大きく窪んでいるため、距離の目測を誤ってショートしてしまいがち。バンカー越えでアプローチするなら、少なくとも2番手上のクラブで打ち上げる必要がある。

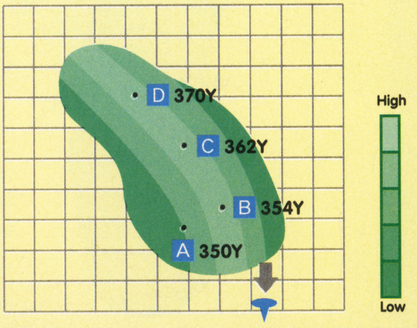


ドライブに自信があるなら、フェード気味に思いきり飛ばしていこう。フェアウェイの下り斜面に沿ってランも伸びていくはずだ。アプローチでは、逆にドローぎみに打つといい。



Green Data

中央から左右へボールを追い出す斜面になっている。カップと同じ斜面に落とせば、パッティングラインが複雑になる可能性を少しでも減らせるはず。中央の山越えは禁物。

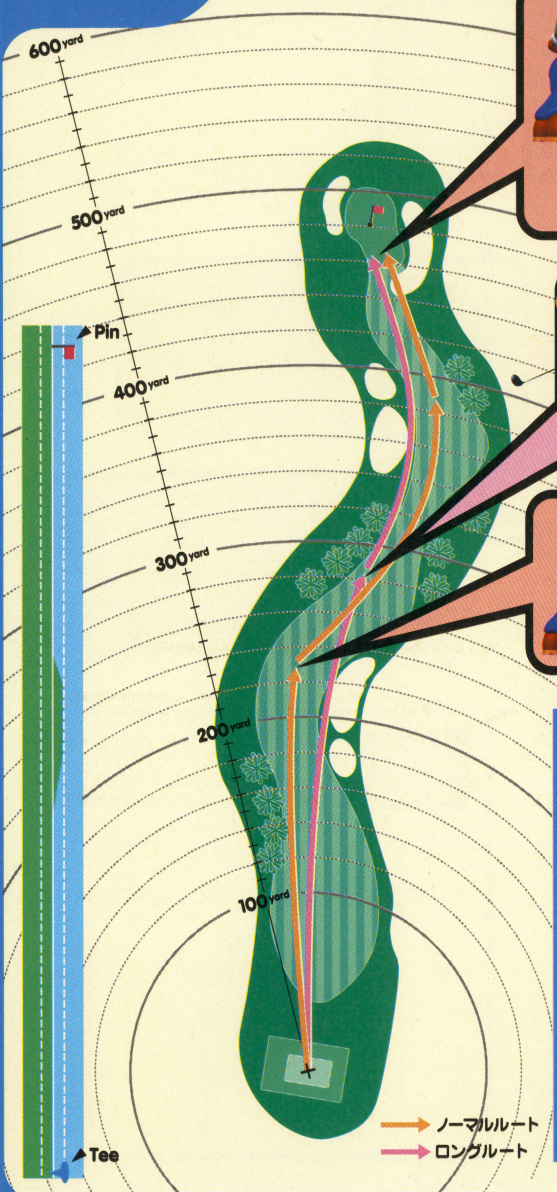


ヨッシーアイランド

HOLE 11

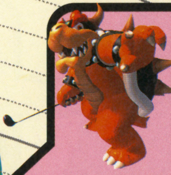
507Yards | Par5

右へ左へと曲がりくねったフェアウェイ。ライの起伏も激しく、風の影響なども考慮して、山を越えるかどうかを判断する必要がある。フェードやドローでどれだけ正確にボールをコントロールできるかが試されるホールといえる。ちなみにラフの左右外側はディープラフなので、打ち込まないように注意。





デコボコしたフェアウェイからのセカンドショットは、打つ前にライに注意しよう。つま先上がりなので、ボールが狙った方向よりも左に飛んでいくことを忘れないように。



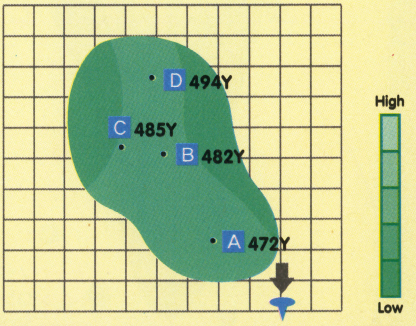
イーグル狙いなら、ティーショットをフェード気味に打ち、フェアウェイの右寄りの位置から2打目を打てるように落としていきたい。ストレートだと、視線を遮る木も気にならないからだ。



バックスピンをかけつつ、グリーン中央を狙ってアプローチしていく。カップがどの位置に切られていても、ここからならストレートなラインでのパットが可能となる。

Green Data

左奥と右全体が大きく窪んでいるため、そこにボールがいくとバンカーに転がり落ちてしまう。フェアウェイもやや低くなっているので、グリーンの手前側にアプローチを。



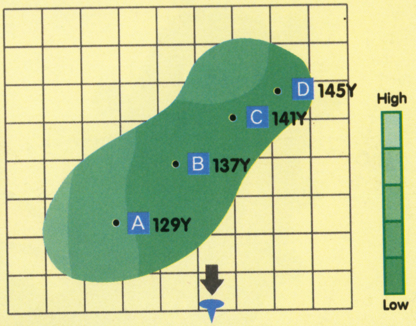
HOLE 12

140Yards Par3

38ヤードも下にあるグリーンへ、まさに落とすようにアプローチしなければならないショートホール。カップが右に切られている場合でも、ピンそばを狙って打つのは危険。グリーン右側は奥行きがなく、しかも手前にバンカーがあるため、パワーコントロールが非常に難しいからだ。

Green Data

奥から手前へ、そして左から右へと、2方向への下り斜面となっている。グリーン中央を狙って落とせば、カップがどこに切られていても対応しやすい。右側は避けたいところ。



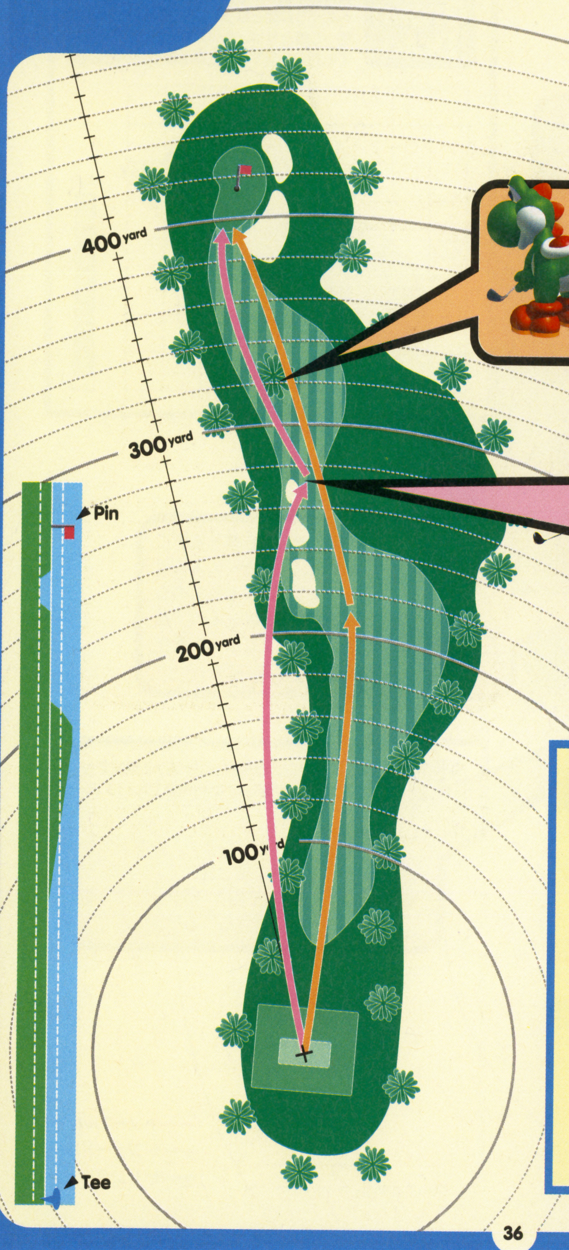


ヨッシーアイランド

HOLE 13

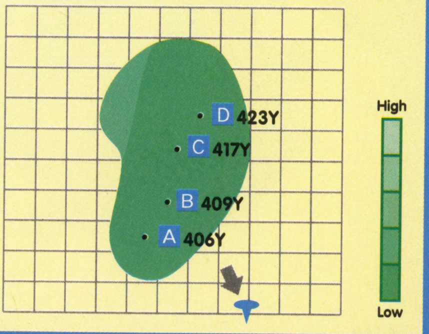
415Yards | Par4

フェアウェイ中央のくびれた部分がポイント。右に山があり、左下がりのスロープになっているので、左のバンカーに転がり落ちる可能性もあるからだ。ここへのアドレスは避け、くびれを越すか、手前に落とすかしたほうが無難。だが、2オンさせるのは難しくないので、確実にバーディーを取っていきたい。



Green Data

フラットで広いグリーンなので、アプローチもパットも比較的イージー。カップが手前に切られているときは、グリーン手前のフェアウェイの下り斜面でランを利用するのも手。

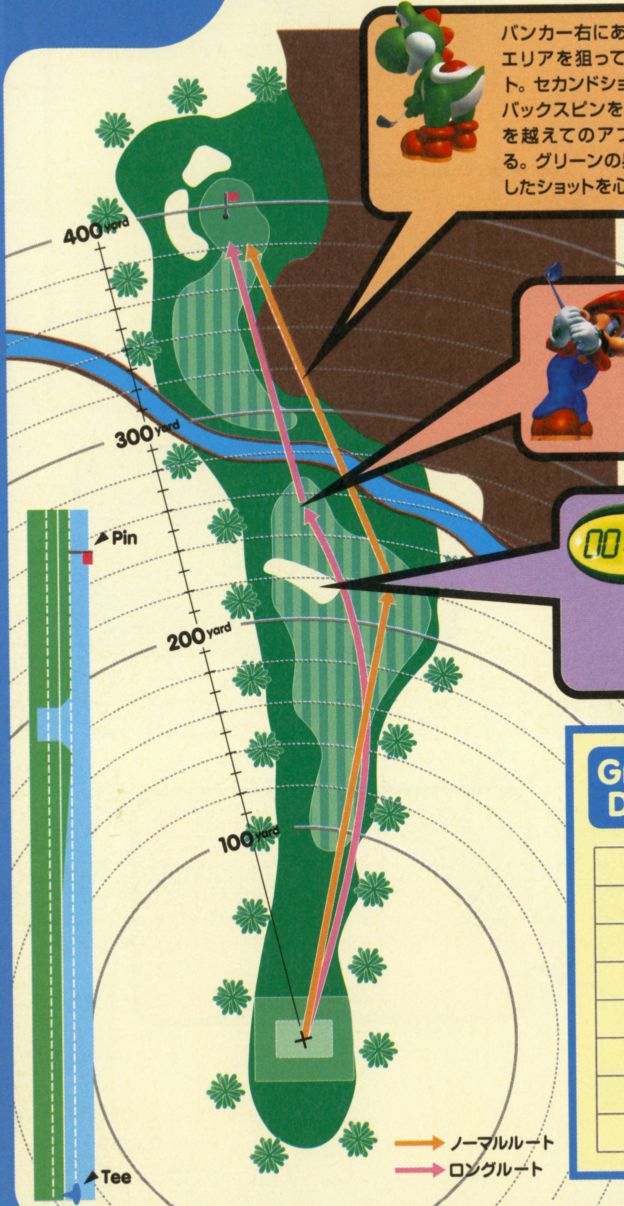


ヨッシーアイランド

HOLE 14

395Yards | Par4

中央を横切る川が印象的なミドルホール。川を気にしすぎるあまり、ティーショットが短くなってしまうと、バンカーや窪んだフェアウェイにつかまって、バーディ狙いは難しくなる。パワーヒッターならバンカーと川のあいだに、それ以外は川の手前にあるバンカーの右手に落として、2オンを狙っていくのがベター。



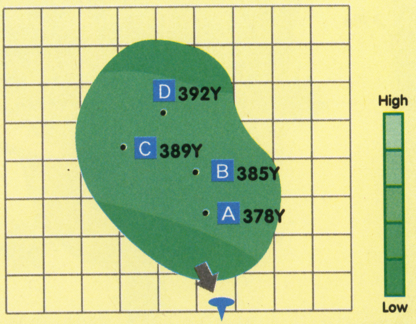
バンカー右にあるフラットなエリアを狙ってティーショット。セカンドショットは強めにバックスピンをかけつつ、山を越えてのアプローチとなる。グリーンの奥行きを活かしたショットを心がけよう。

追い風が強ければ、一気に川を越えてしまうことも可能だが、川の手前のフェアウェイ部に落としても、距離的に問題はない。ドローぎみにバックスピンをかけてのティーショットがオススメといえる。

このバンカーにはまると、大幅なタイムロスは確実。あまりにアゴが深いため、グリーン方向にリカバーすることさえ難しいからだ。風向きや天候によっては、1打のロスはあきらめてバンカー手前を狙ったほうが無難。

Green Data

右側からせり出した山を避ける意味でも、バックスピンをかけた高弾道でのアプローチが確実。グリーン手前のフェアウェイはデコボコなので、ランで乗せていく手は危険だ。



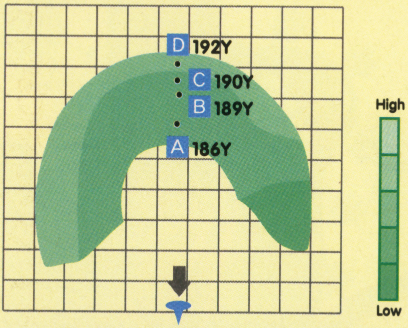
HOLE 15

190Yards　Par3

ドーナツ状のグリーンへのアプローチは、見た目以上に難易度が高い。グリーンに奥行きがないため、左右どちらかから回り込み、形状に沿ってのアプローチが望ましい。パワーがあるキャラクターなら、ロングアイアンでバックスピンをかけて打ち上げ、風にボールの勢いを殺してもらうという手もあるが。

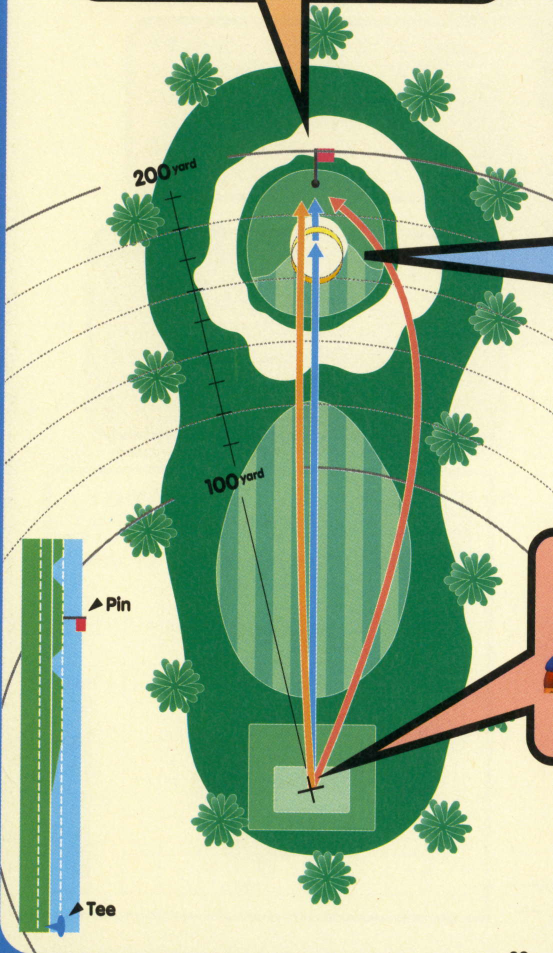
Green Data

グリーンには全体的に細かなアンジュレーションがある。どちらかというとグリーンの右側のほうがフラットなので、右からドローボールでアプローチするのが無難な線。





ドーナツの外側のバンカーはかなり窪んでいるうえに、グリーンには奥行きがない。オンするだけでも至難の業といえる。グリーンオーバーだけは避けるようにして、ピンではなくグリーンの左右を狙っていこう。



① クラブの番手をひとつ下げ、ピンに向かってストレートなボールでティーショットすれば、リングをパスできる。バンカーからのリカバリーではバックスピンがかかりにくいので、パワー調整は慎重に。



ボールの右下を叩き、思いきりドローするボールを打ち上げる。曲げる強さが中途半端だと、飛距離も曲がる球筋もかえって予想しにくくなってしまうからだ。もちろん、ショットタイミングはジャストで、フックやスライスがかからないように。

ノーマルルート
ロングルート
リングルート

ヨッシーアイランド

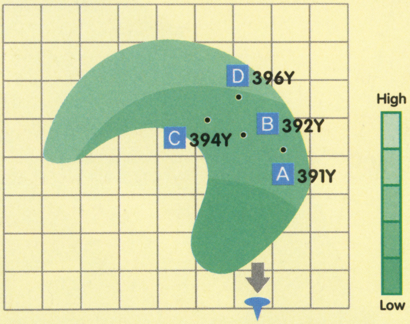
HOLE 16

398Yards | Par4

高台を飛び石状に渡り歩くミドルホール。高台を外してもOBにはならないが、下に落とすくらいなら高台のラフに打ち込んだほうがいい、というくらい高低差がある。中央の高台のフェアウェイは3分割されているが、確実にいくならドローぎみにいちばん手前を、飛距離に余裕があるなら中央を狙いたい。

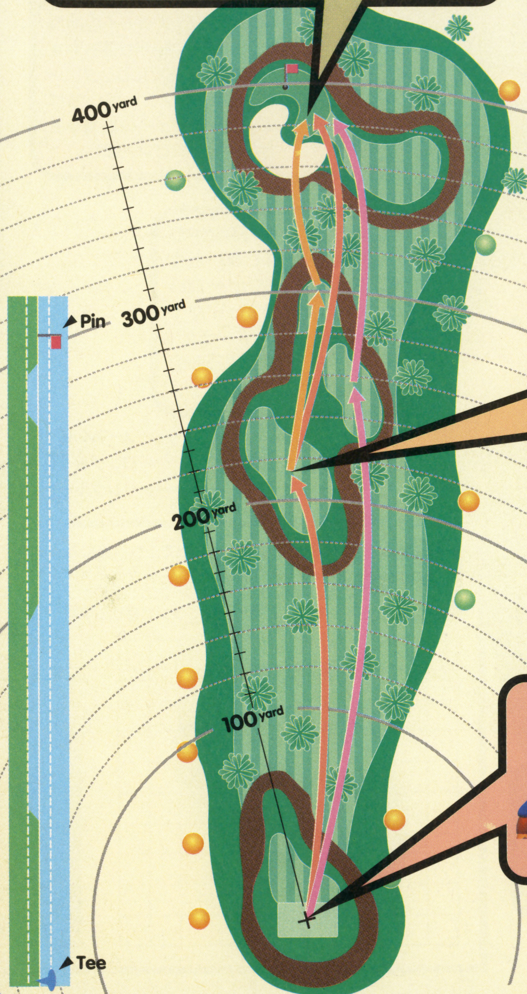
Green Data

奥へと上る受けグリーンのため、ロングアイアンでのアプローチも止まりやすい。手前側の低くなったグリーンまでキャリーで運び、ランでピンそばに寄せるつもりで打とう。





バンカーを避け、右からのドローボールで狙いたくなるところだが、グリーンのエッジ近辺は小高くなっていて、予期せぬバウンドをする可能性がある。思いきってバンカー越えしてしまったほうがいい。





不幸にも向かい風、それに加えて雨、という悪天候のラウンドで2オンを狙うのは無謀。フェアウェイは狭いうえに雨でランも稼げなくなるからだ。確実にパーキープを目指した作戦に変更する勇気がほしい。

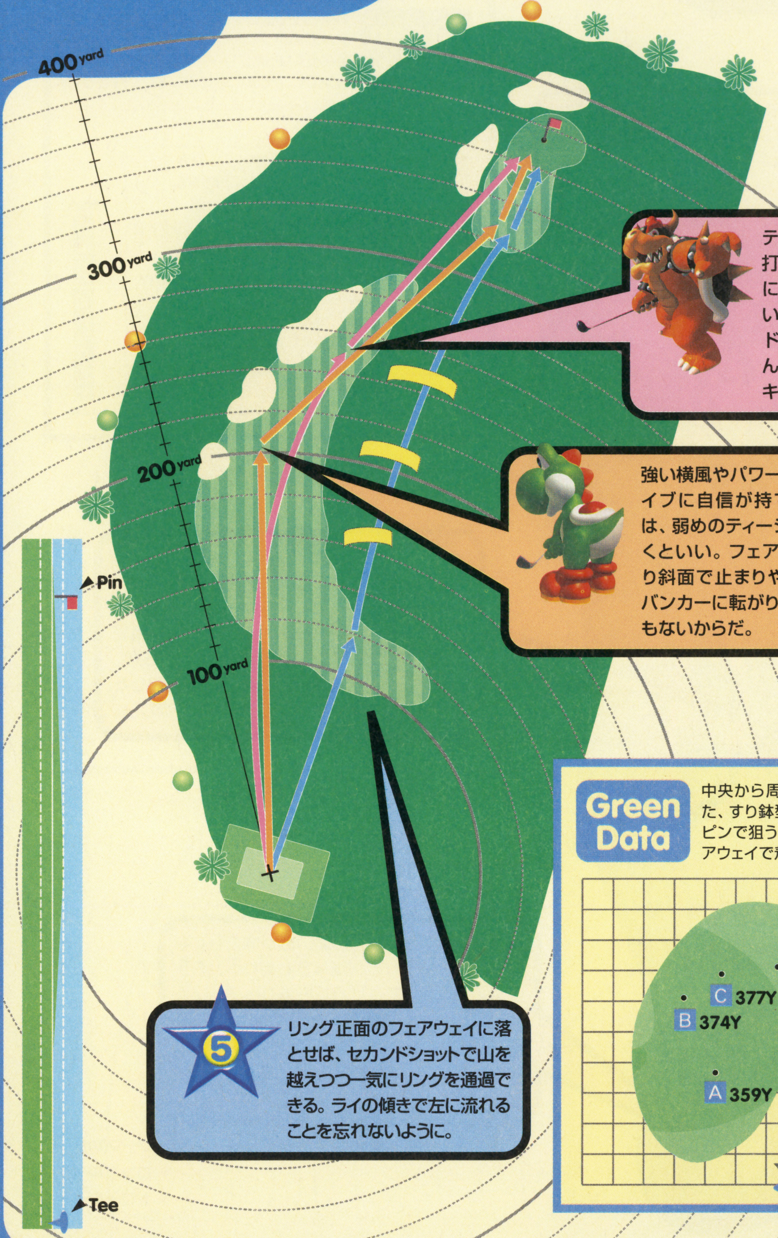


パワーと追い風が味方してくれる状況なら右寄りへ、そうでなければ左寄りへアドレスを調節してティーショット。追い風があるならバックスピンをかけて打ち、少しでもキャリーを稼ぐこと。

HOLE 17

389Yards　Par4

大きな山の斜面に沿ってボールを運ぶミドルホール。フェアウェイはどこも右上がりになっている。ティーショットでは、山にぶつけるくらいのつもりでボールをフェードさせたい。最初にドライブを稼げれば、それだけアプローチも楽になる。ドロー特性の強いキャラクターにとっては攻めにくいホールだろう。



ティーショットをストレートに打つと、フェアウェイの斜面によって左に転がり落ちやすい。これを防ぐには、フェードぎみに打つことがいちばん。フェアウェイの右寄りをキープできればなおよし。

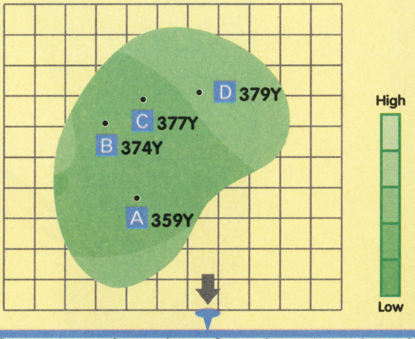
強い横風やパワー不足でドライブに自信が持てないときは、弱めのティーショットでいくといい。フェアウェイが上り斜面で止まりやすいうえ、バンカーに転がり落ちる心配もないからだ。

5

リング正面のフェアウェイに落とせば、セカンドショットで山を越えつつ一気にリングを通過できる。ライの傾きで左に流れることを忘れないように。

Green Data

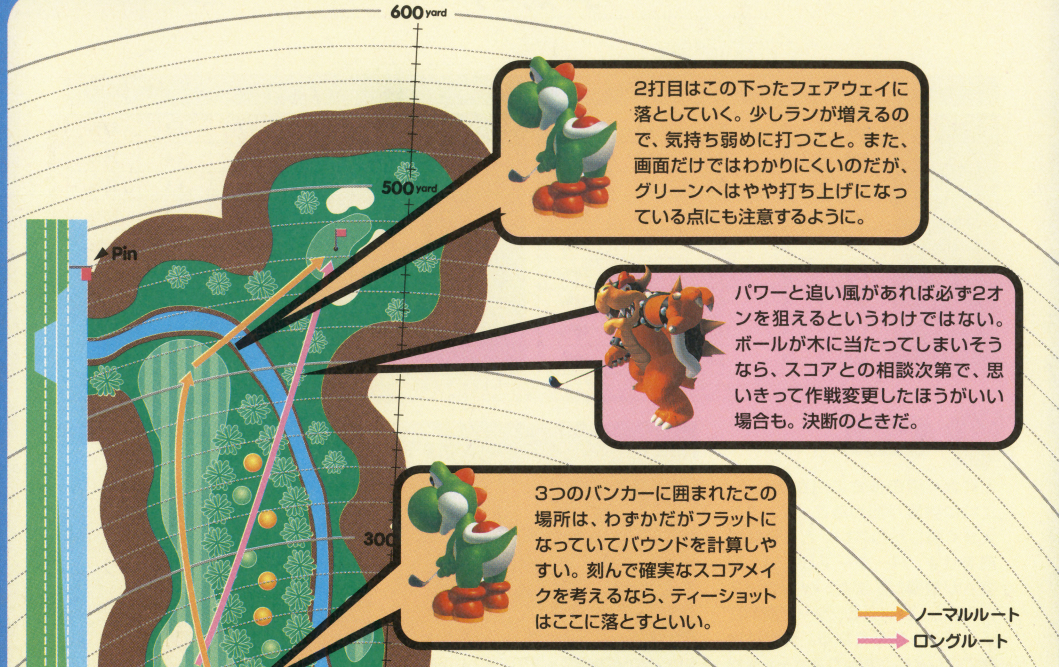
中央から周囲に向かって上り斜面になった、すり鉢型のグリーン。窪みをバックスピンで狙うのがセオリーだが、手前のフェアウェイで着地させてランで寄せる手も。



HOLE 18

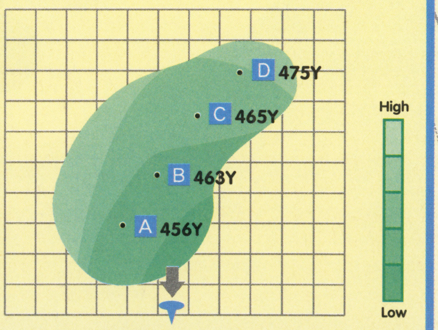
530Yards Par5

夕焼けが映える最終ホールは、右ドッグレッグのロングホール。バンカーのあいだにティーショットを落とし、林と並行するように川の手前にセカンドショット、そしてアプローチに入るのがセオリーといえる。ロングヒッターなら、セカンドショットで林越えのロングアプローチという選択肢も可能だ。



Green Data

ラインは見た目以上に複雑。幸運にもピッチアプローチが止まりやすい形状なので、カップがAとBなら手前に、CやDなら奥にドンピシャの距離で落としたいところ。



COURSE 4

ヨッシーアイランド

コースデータ

HOLE No.	yards	パースコア	平均スコア	平均パット数	降水確率
1	350	4	3.5	1.1	0%
2	400	4	4.1	1.2	33%
3	170	3	3.3	1.3	47%
4	470	5	4.7	1.3	40%
5	382	4	4.3	1.1	33%
6	155	3	2.7	1.2	26%
7	544	5	4.8	1.3	33%
8	420	4	3.3	1.2	40%
9	365	4	3.9	1.3	20%

HOLE No.	yards	パースコア	平均スコア	平均パット数	降水確率
10	375	4	4.1	1.3	33%
11	507	5	4.4	1.4	26%
12	140	3	2.9	1.5	53%
13	415	4	4.0	1.3	26%
14	395	4	3.9	1.2	20%
15	190	3	2.8	1.3	06%
16	398	4	3.3	1.1	43%
17	389	4	3.8	1.5	30%
18	530	5	4.8	1.6	17%

※これらの数値はすべて編集部で独自に調査・集計し、算出したオリジナルのデータです。平均スコア、平均パット、降水確率は3人のプレイヤーがトーナメントモードをそれぞれ10ラウンドずつ、合計30ラウンドして結果を集計しました。平均スコアと平均パットは小数点2位以下を四捨五入、降水確率は小数点以下を切り捨てています。

総評

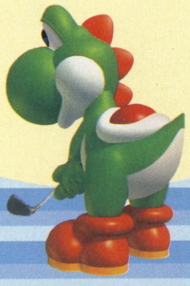
とにかく雨の多さに泣かされる。これに強風が加わると、スコアを大きく崩しかねない。ときには無理をせず、パーキープしていく堅実さが重要だ。また、インコースに入ると、ロングヒッターが有利なレイアウトが多くなる。前半は冷静にプレイし、後半でスパートをかけるべく積極的に攻めていきたい。



もっとも降水確率の高い、魔の12番ショートホール。無理をせず、パーキープを心がけたい。



フェアウェイやグリーンが高台になったホールでの無理は禁物。高台を外すと大きなスコアロスに。



キャラクター別 飛距離一覧

サニー


	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	254/11	233/9	216/9	197/10	184/10	174/9	161/8	149/10	136/9	123/10	113/10	95/8	71/10
FS	227/10	210/10	193/10	180/9	167/10	159/11	145/10	134/12	123/12	111/11	101/12	85/9	64/10
-1	215/9	197/11	181/11	169/9	157/10	149/10	136/10	126/12	116/12	104/11	94/13	80/10	59/12
BS	228/9	209/8	194/10	182/11	170/10	162/8	144/8	134/10	123/8	110/13	101/9	88/9	68/12

メイプル


	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	260/8	240/10	224/10	204/10	193/11	181/11	166/11	154/12	139/13	128/11	116/11	99/9	74/10
FS	236/13	220/11	204/12	185/12	174/11	162/10	150/11	139/9	127/13	115/13	105/12	89/10	67/9
-1	223/12	207/11	192/12	175/9	164/10	153/11	142/11	131/9	121/11	109/10	99/12	84/9	62/10
BS	232/8	212/10	195/8	180/11	170/12	159/9	146/10	135/12	125/8	114/9	105/10	92/9	70/8

ワリオ


	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	262/13	243/14	223/14	208/11	194/11	182/10	168/12	155/13	145/9	134/9	121/9	103/9	78/11
FS	234/17	217/15	205/10	185/13	172/16	164/12	154/11	140/13	131/11	121/10	108/11	92/9	70/10
-1	219/13	200/15	188/15	174/13	163/11	153/13	145/11	131/12	122/11	112/10	101/10	86/9	65/9
BS	228/8	207/12	190/12	180/10	168/12	159/12	148/12	136/10	128/7	116/8	106/7	92/9	73/6

ハリー


	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	277/6	257/7	238/8	219/9	205/9	192/7	178/9	165/9	152/10	137/9	125/10	106/11	80/9
FS	250/10	233/12	216/11	196/10	186/10	173/9	160/8	147/11	136/10	124/11	113/10	96/9	72/10
-1	236/11	221/10	204/10	185/12	174/11	163/10	151/11	138/12	127/11	117/12	106/11	90/10	67/9
BS	245/10	229/9	214/7	194/10	184/8	172/8	156/8	144/10	131/11	121/9	111/13	96/9	74/10

マリオ


	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	291/11	267/10	245/11	225/10	210/9	197/10	183/8	170/8	156/10	143/9	129/12	109/10	82/12
FS	259/7	241/11	221/10	202/11	191/9	179/9	168/11	153/10	139/12	129/13	116/12	97/9	75/11
-1	247/10	228/9	211/9	192/9	182/11	171/11	160/10	146/11	132/10	124/10	110/10	92/8	70/10
BS	253/11	233/6	215/7	197/10	187/9	175/8	163/12	149/11	136/9	128/11	114/10	99/10	78/8

ドンキーコング


	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	290/13	270/9	250/11	228/11	213/8	201/7	188/10	173/11	159/9	146/9	132/9	115/8	84/9
FS	265/13	245/13	224/14	206/11	193/12	182/11	168/14	158/13	144/12	131/11	119/11	103/9	76/10
-1	250/10	232/11	212/15	193/15	182/12	171/13	158/12	149/11	136/11	123/11	110/13	97/8	72/9
BS	261/9	243/9	222/9	208/9	194/11	183/11	167/10	157/10	142/10	128/10	117/10	103/9	78/10

クッパ


	1W	3W	4W	2I	3I	4I	5I	6I	7I	8I	9I	PW	SW
PS	302/8	278/7	259/7	237/9	221/7	209/8	193/10	180/9	164/11	147/11	133/13	114/10	85/10
FS	272/7	253/8	233/9	215/10	201/8	189/10	173/9	161/10	147/11	136/11	122/11	103/9	77/12
-1	259/7	239/11	220/9	204/11	189/10	180/8	164/11	152/10	140/11	128/12	115/11	97/12	72/11
BS	264/8	244/7	223/8	209/8	194/9	184/11	167/9	156/11	143/10	131/12	118/9	103/12	79/10

表内の数字はキャリー/ラン(単位はヤード)を示す　**PS**:パワーショットでのフルスイング　**FS**:ノーマルでのフルスイング　**-1**:FSから目盛りひとつ分減らしたショット　**BS**:バックスピンをかけたフルスイング　※数値はすべて編集部で独自に調べたものです。ドライビングレンジのティーショットにおいて無風・晴天状態で行い、インパクトはBSを除きボールセンターのみを対象とする、という条件の下で一定数のサンプルを集め、そこから数値を算出しました。なお、小数点以下は四捨五入となっています。

マリオゴルフ64

FOR ALL PLAYERS HOPING TO TOUCH THE TRUE ENTERTAINMENT